
新潟勤労者総合福祉センター
(新潟テルサ)
市民アンケート
報告書

< 目 次 >

I 調 査 概 要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 回収結果	3
4. 集計・分析にあたって	3
5. 回答者の特性	3
II 調 査 結 果	5
1. 公共施設について	6
(1) 公共施設の利用頻度	6
(2) 新潟市の公共施設の課題の認知	8
(3) 限られた財源の中で公共施設を維持・存続するためによいと思う取り組み	10
(4) 公共施設の見直しで考慮すべきこと	12
(5) 公共施設の統合・廃止による利用しづらさについて	14
(6) 民間施設と市営施設で類似するサービスの提供について	16
2. 新潟テルサについて	18
(1) ホールの利用頻度	18
(2) ホールを利用しない理由	20
(3) ホールが廃止になった場合	22
(4) 貸室の利用頻度	24
(5) 貸室を利用しない理由	26
(6) 貸室が廃止になった場合	28
(7) フィットネスセンターの利用頻度	30
(8) フィットネスセンターを利用しない理由	32
(9) フィットネスセンターが廃止になった場合	34
(10) 市の方針（令和3年度から10年以内に廃止）について	36

I 調 査 概 要

1. 調査の目的

公共施設のあり方や新潟テルサの市の方針に対する意見を市民から聴取し、今後のテルサのあり方検討を進める上での参考とする。

2. 調査の設計

- (1) 調査対象：新潟市に住民登録している15歳以上の方4,000人
- (2) 調査方法：郵送により依頼、インターネットにより回答
- (3) 調査期間：令和7年11月4日～11月28日

3. 回収結果

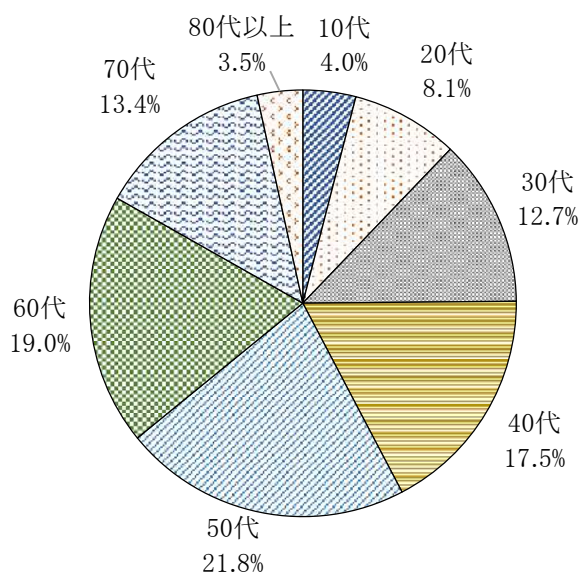
- (1) 回答数：1,071件（回収率26.8%）

4. 集計・分析にあたって

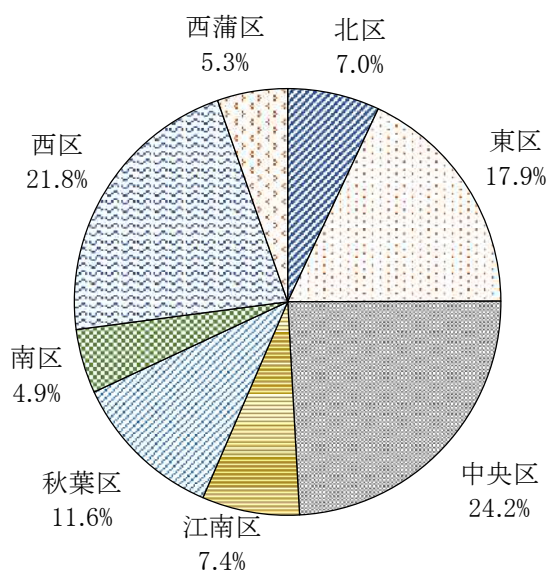
- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。
- (4) 数値が0.0%の場合、グラフ内に数値を表示していない場合がある。

5. 回答者の特性

◆年齢（n=1,071）



◆居住区（n=1,071）

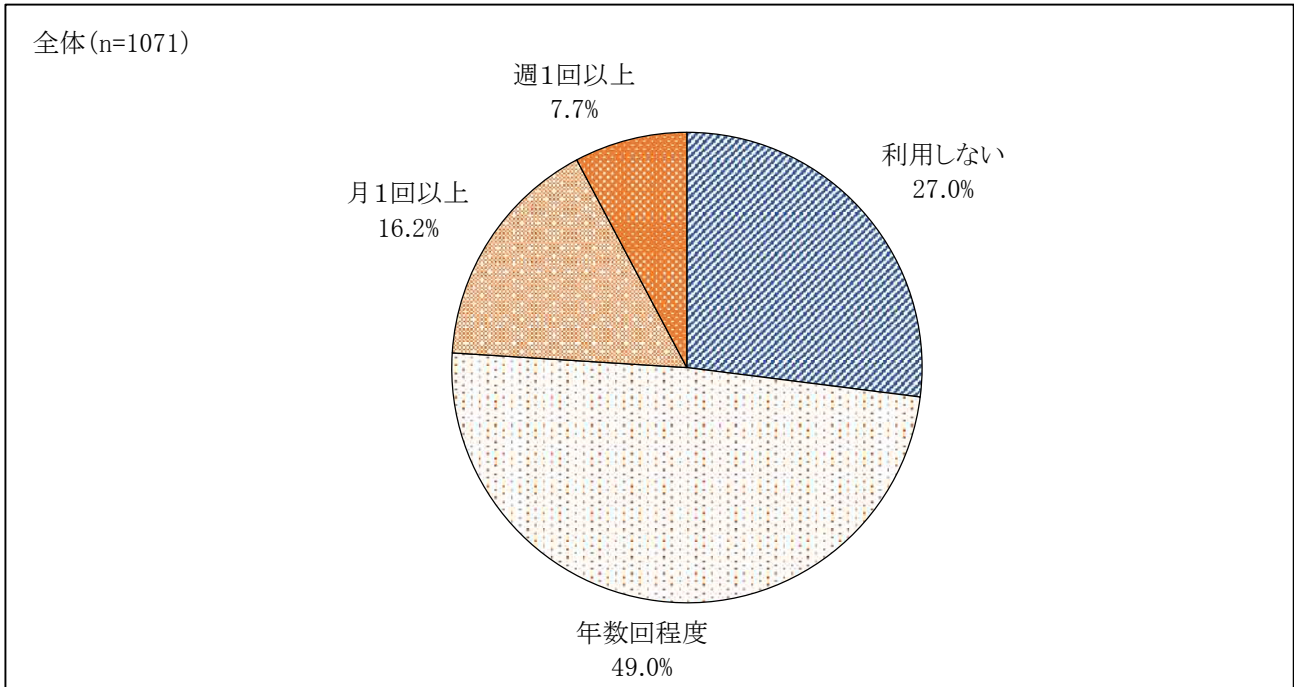


Ⅱ 調 査 結 果

1. 公共施設について

(1) 公共施設の利用頻度

問：あなたは、公共施設（コミュニティセンター、演劇やコンサートを行うためのホール、スポーツ施設、図書館、子育て支援施設、高齢者福祉施設等）をどのくらいの頻度で利用しますか？



【全体結果】

公共施設の利用頻度は、「年数回程度」（49.0％）の割合が約5割で最も高く、次いで「利用しない」（27.0％）、「月に1回以上」（16.2％）、「週に1回以上」（7.7％）と続く。年数回程度以上使用する割合は73.0％となった。

【属性別結果】（次ページ図1-1参照）

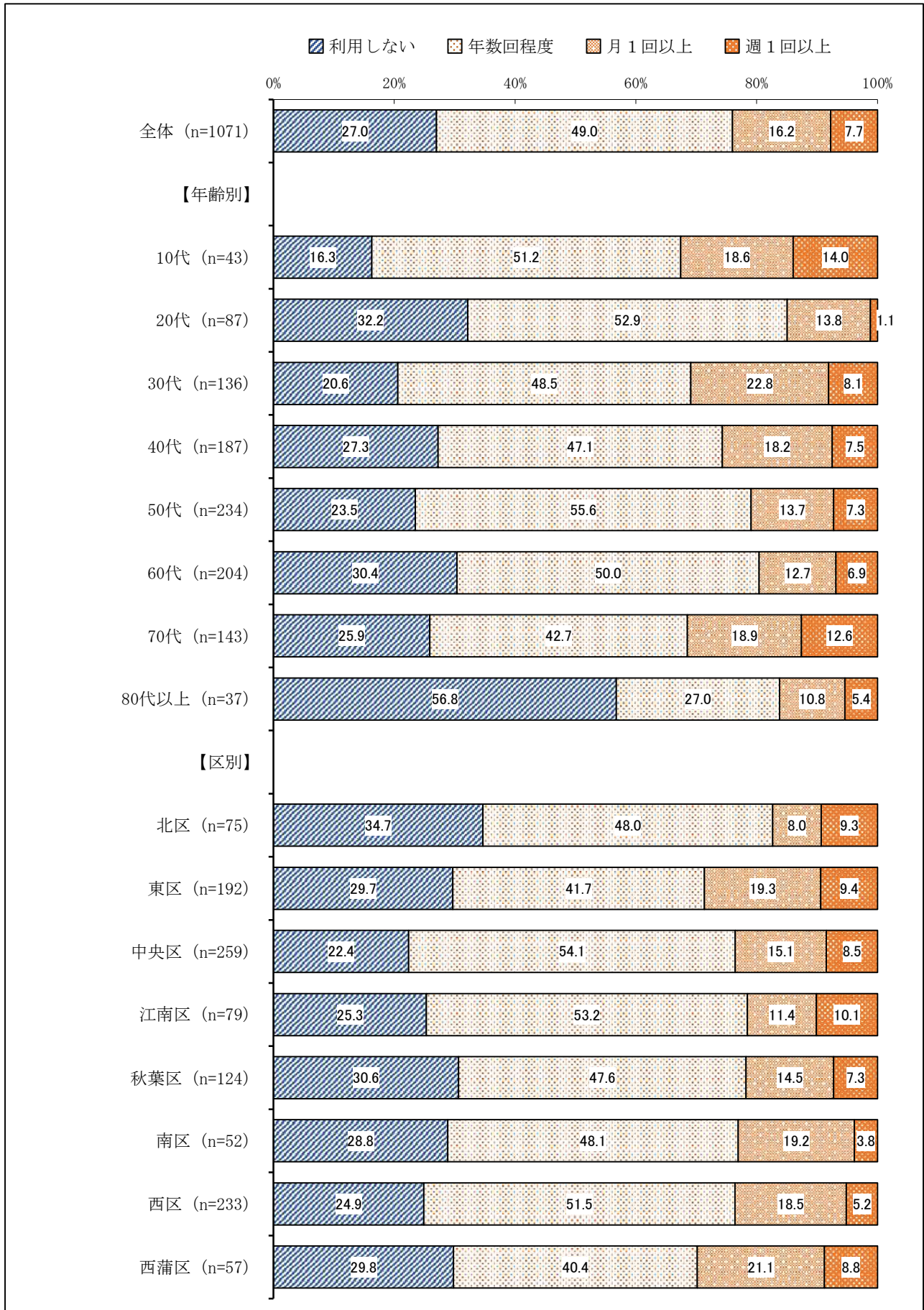
① 年齢別

「週に1回以上」利用している割合は、10代（14.0％）、と70代（12.6％）で高い。「利用しない」の割合は、80代以上で56.8％と高く、他との差が大きい。

② 区別

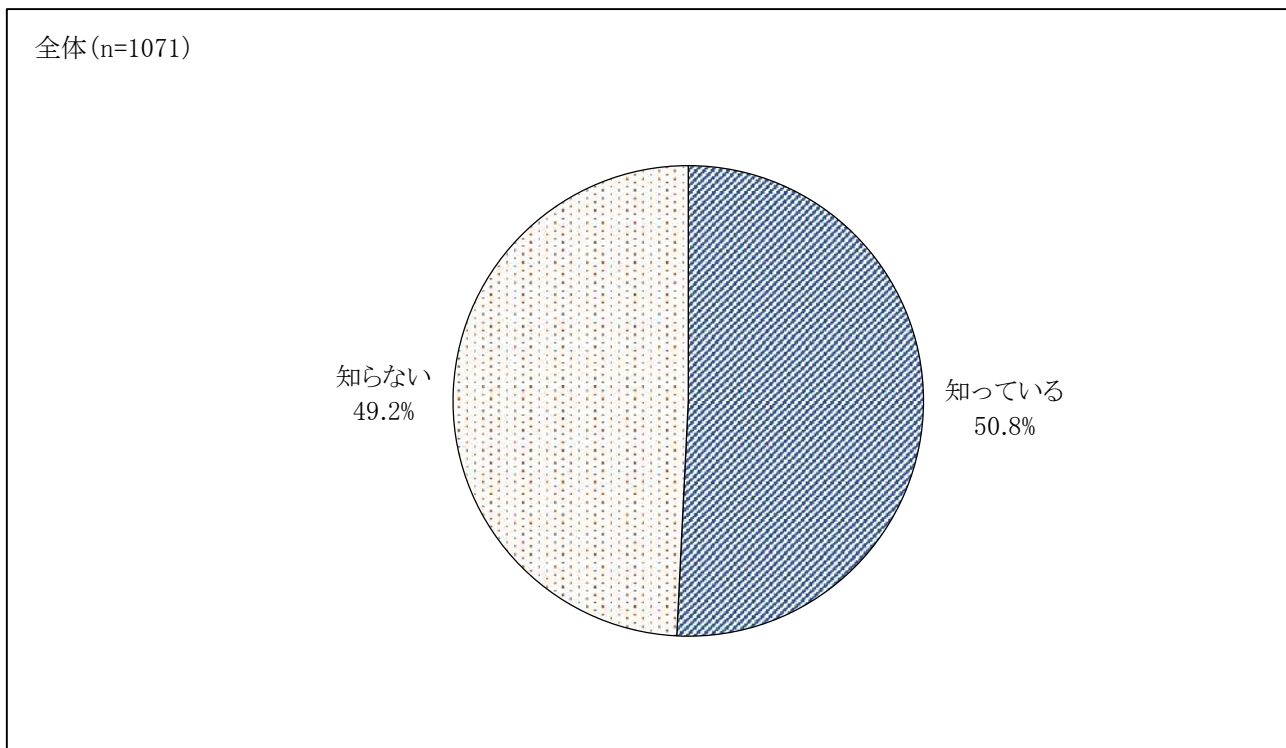
「週に1回以上」利用している割合が、最も高いのは、江南区（10.1％）で、最も低いのは南区（3.8％）となった。「利用しない」の割合が最も高いのは北区（34.7％）で、最も低いのは中央区（22.4％）となった。

図 1-1 公共施設の利用頻度（年齢別/区別）



(2) 新潟市の公共施設の課題の認知

問：本市の公共施設について①人口が増加していた昭和50年代に整備がすすめられた公共施設の老朽化が進む中で、施設の安全性やそれに伴う整備、更新（建替え）に係る財政負担が課題となっていることを知っていますか？



【全体結果】

新潟市の公共施設の課題について、「知っている」(50.8%)、「知らない」(49.2%)ともに約5割となった。

【属性別】(次ページ図1-2参照)

① 年齢別

「知っている」の割合が最も高いのは70代(71.3%)で約7割となったが、最も低い20代(24.1%)では2割半ばと差が大きい。概ね年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。

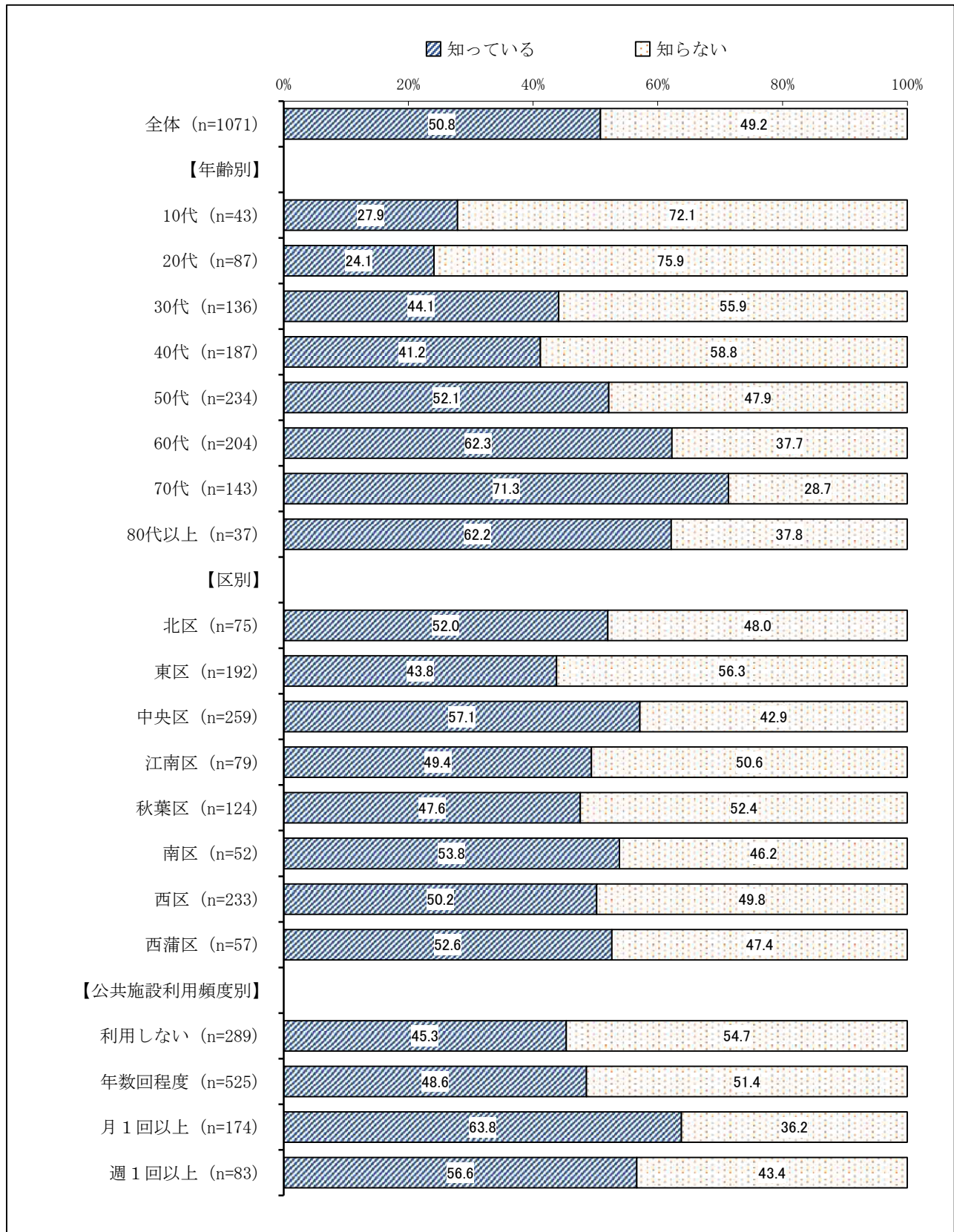
② 区別

「知っている」の割合が最も高いのは中央区(57.1%)で、次いで南区(53.8%)、西蒲区(52.6%)順に続く。最も割合が低いのは「東区」(43.8%)となった。

③ 公共施設利用頻度別

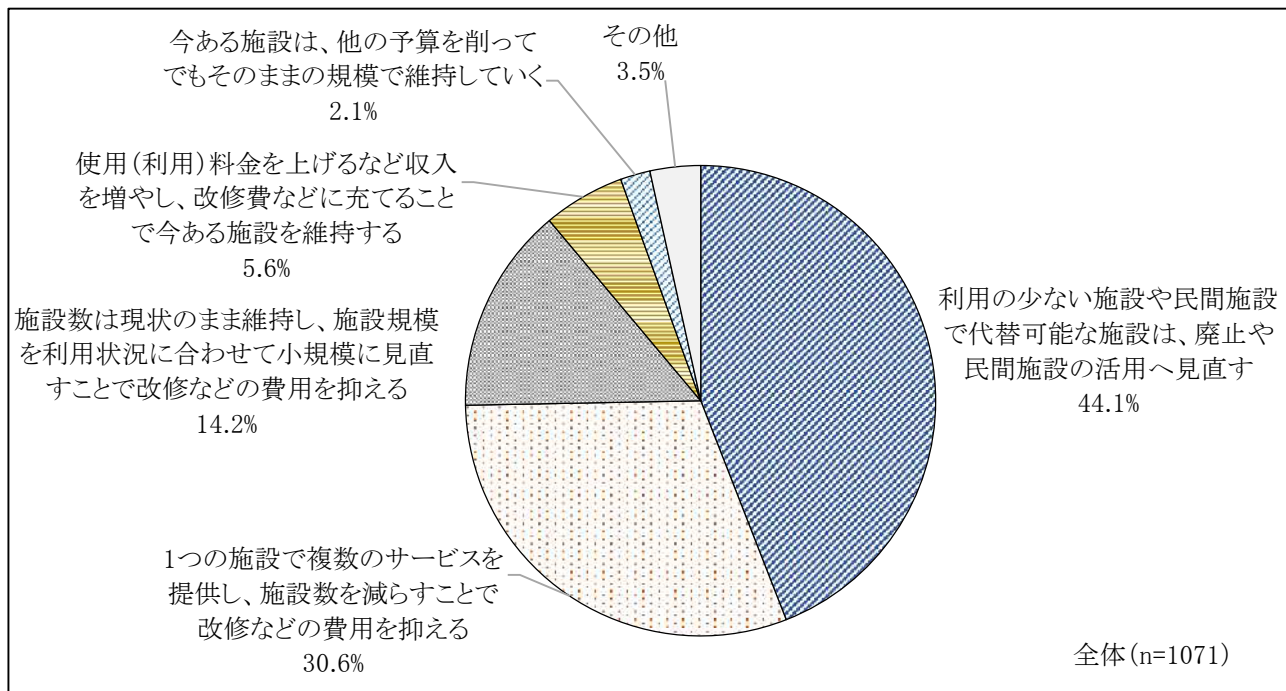
「知っている」の割合が最も高いのは、「月1回以上」(63.8%)で、次いで「週1回以上」(56.6%)、「年数回程度」(48.6%)の順に続く。最も低いのは「利用しない」(45.3%)となった。公共施設を使用する人と比較すると利用しない人の認知度が低い。

図 1-2 新潟市の公共施設の課題の認知（年齢別/区別/公共施設利用頻度別）



(3) 限られた財源の中で公共施設を維持・存続するためによいと思う取り組み

問：今後、限られた財源の中で必要な公共施設を維持または存続していくためには、どのような取り組みを進めるのがよいと思いますか？あてはまるものをひとつ選んでください。



【全体結果】

限られた財源の中で公共施設を維持・存続するためによいと思う取り組みは、「利用の少ない施設や民間施設で代替可能な施設は、廃止や民間施設の活用へ見直す」(44.1%)の割合が最も高く4割半ばとなった。次に「1つの施設で複数のサービスを提供し、施設数を減らすことで改修などの費用を抑える」(30.6%)が約3割、この2つを合わせた『施設数を減らす』の割合は74.7%となった。その次に「施設数は現状のまま維持し、施設規模を利用状況に合わせて小規模に見直すことで改修などの費用を抑える」(14.2%)、「使用(利用)料金を上げるなど収入を増やし、改修費などに充てることで今ある施設を維持する」(5.6%)、「今ある施設は、他の予算を削ってでもそのままの規模で維持していく」(2.1%)の順に割合が高い。『施設数は維持』するの合計は21.8%となった。

【属性別結果】(次ページ図1-3参照)

① 年齢別

どの年代も「利用の少ない施設や民間施設で代替可能な施設は、廃止や民間施設の活用へ見直す」と「1つの施設で複数のサービスを提供し、施設数を減らすことで改修などの費用を抑える」の割合が高い。『施設数を減らす』の合計は、20代(80.5%)で最も高く、10代(67.4%)で最も低い。

② 区

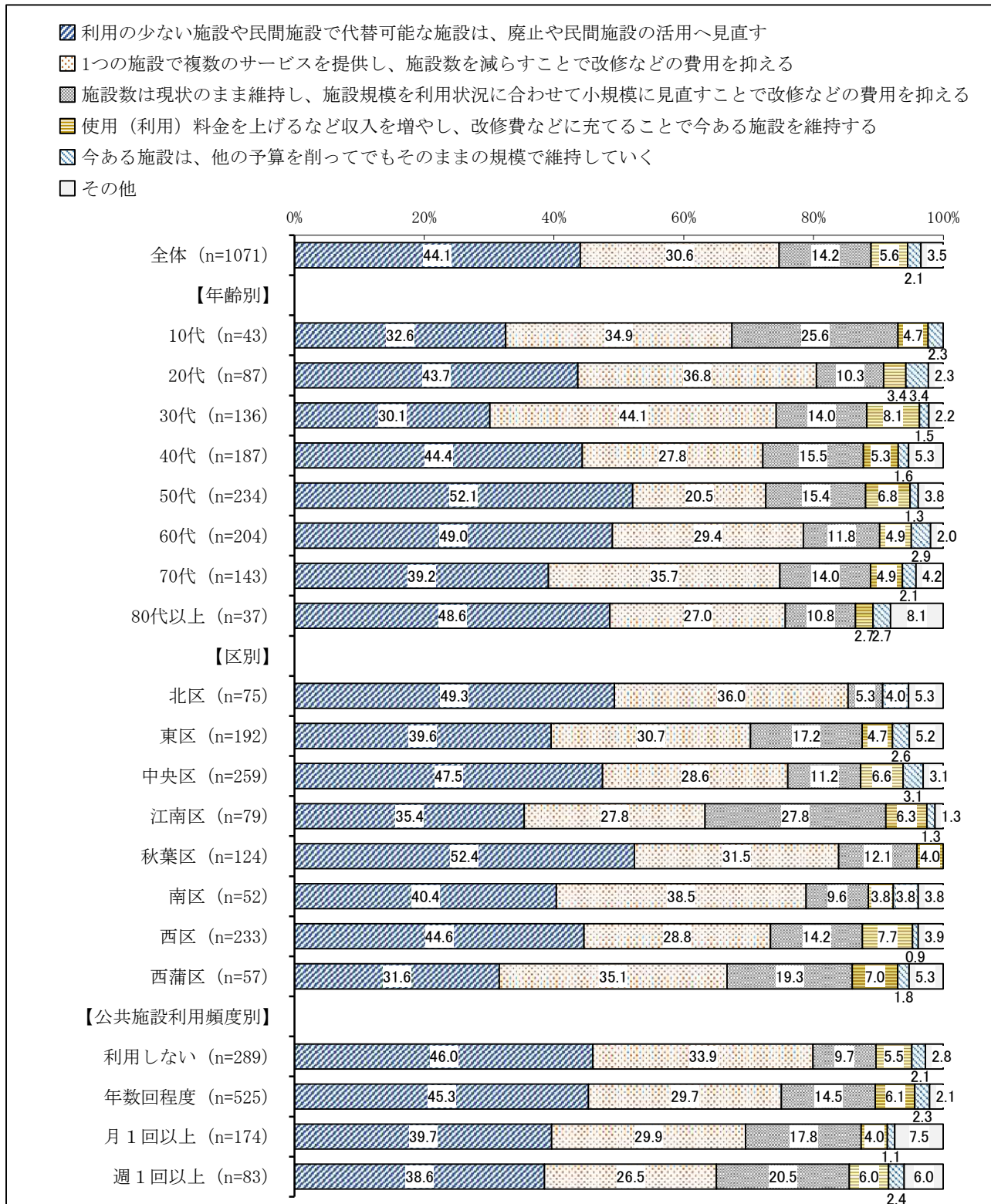
すべての区で「利用の少ない施設や民間施設で代替可能な施設は、廃止や民間施設の活用へ見直す」と「1つの施設で複数のサービスを提供し、施設数を減らすことで改修などの費用を抑える」の割合が高い。『施設数を減らす』の合計は、北区(85.3%)で最も高く、江南区(63.3%)で最も低い。

③ 公共施設利用頻度別

『施設数を減らす』の合計は、利用しない（79.9%）で最も高く、週1回以上（65.1%）で最も低い。公共施設の利用頻度が高いほど『施設数を減らす』の合計の割合が低くなっている。利用頻度が高いほど、「施設数は現状のまま維持し、施設規模を利用状況に合わせて小規模に見直すことで改修などの費用を抑える」の割合が高くなる。

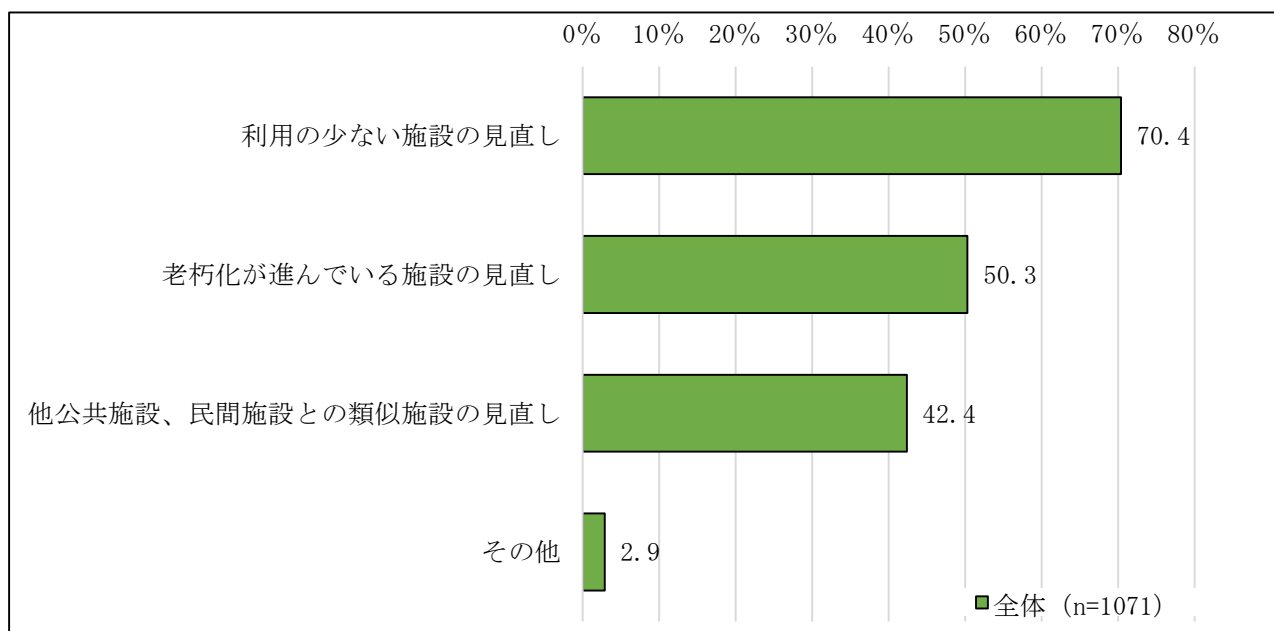
図 1-3 限られた財源の中で公共施設を維持・存続するためによいと思う取り組み

(年齢別/区別/公共施設利用頻度別)



(4) 公共施設の見直しで考慮すべきこと

問：「公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設の総量（延床面積）を縮減していくことを目標としていますが、どのようなことを考慮して公共施設を見直ししていくのがよいと思いますか？
あてはまるものをすべて選んでください。



【全体結果】

公共施設の見直しで考慮すべきことについて、「利用の少ない施設の見直し」（70.4%）の割合が最も高く約7割となった。次いで「老朽化が進んでいる施設の見直し」（50.3%）が約5割、「他公共施設、民間施設との類似施設の見直し」（42.4%）が4割強と続く。

【属性別結果】（次ページ図 1-4 参照）

① 年齢別

どの年代も「利用の少ない施設の見直し」の割合が最も高い。70代以外は、次に「老朽化が進んでいる施設の見直し」の割合が高い。70代は、「他公共施設、民間施設との類似施設の見直し」が2番目に高い。

② 区

すべての区で「利用の少ない施設の見直し」の割合が最も高い。南区以外は、次に「老朽化が進んでいる施設の見直し」の割合が高い。南区は、「他公共施設、民間施設との類似施設の見直し」が2番目に高い。

③ 公共施設利用頻度別

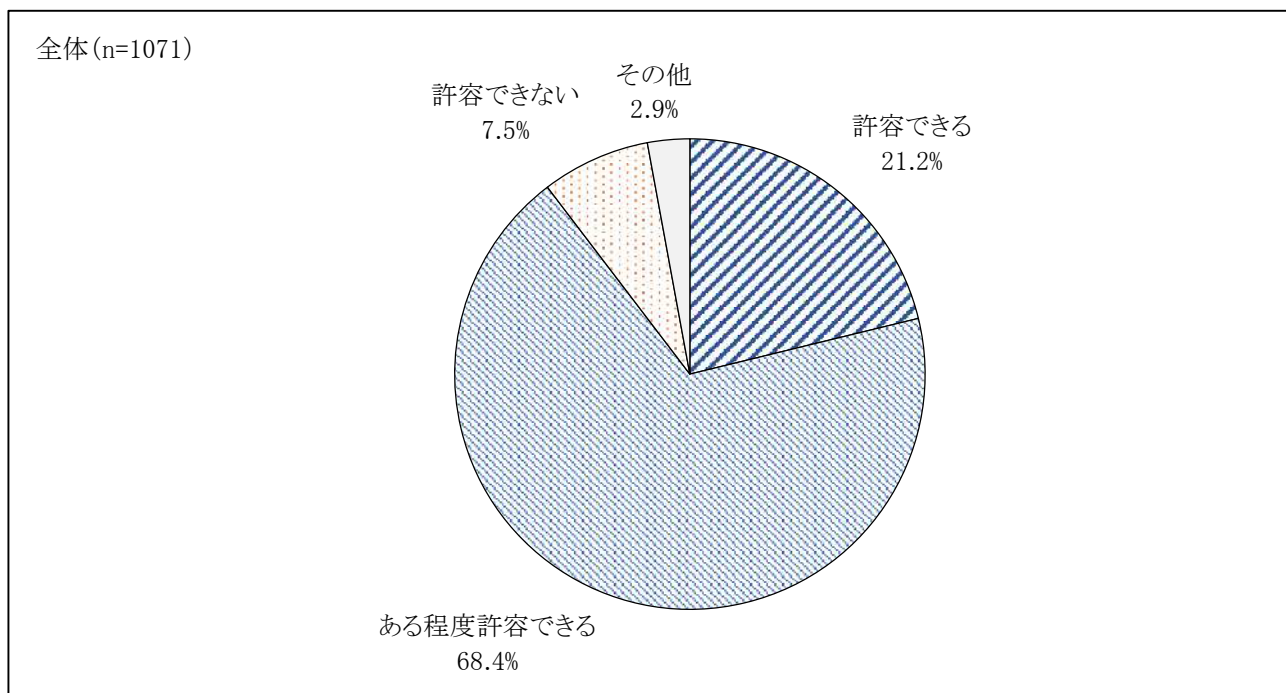
すべての利用頻度で「利用の少ない施設の見直し」の割合が最も高く、次に「老朽化が進んでいる施設の見直し」の割合が高い。

図 1-4 公共施設の見直しで考慮すべきこと（年齢別/区別/公共施設利用頻度別）

割合 (%)	利用の少ない施設の見直し	老朽化が進んでいる施設の見直し	他公共施設、民間施設との類似施設の見直し	その他
全体 (n=1071)	70.4	50.3	42.4	2.9
【年齢別】				
10代 (n=43)	76.7	55.8	20.9	0.0
20代 (n=87)	70.1	50.6	29.9	1.1
30代 (n=136)	73.5	53.7	38.2	2.2
40代 (n=187)	70.6	47.1	39.0	4.3
50代 (n=234)	70.9	49.1	44.4	3.0
60代 (n=204)	70.6	52.5	50.0	1.5
70代 (n=143)	66.4	47.6	48.3	4.2
80代以上 (n=37)	62.2	54.1	51.4	8.1
【区別】				
北区 (n=75)	61.3	57.3	42.7	2.7
東区 (n=192)	66.7	45.3	44.8	1.6
中央区 (n=259)	76.1	52.1	40.5	3.9
江南区 (n=79)	72.2	53.2	35.4	2.5
秋葉区 (n=124)	65.3	54.0	45.2	1.6
南区 (n=52)	71.2	38.5	48.1	1.9
西区 (n=233)	73.4	49.4	42.5	3.4
西蒲区 (n=57)	64.9	52.6	40.4	5.3
【公共施設利用頻度別】				
利用しない (n=289)	73.4	48.4	38.4	3.1
年数回程度 (n=525)	69.9	52.2	44.0	2.3
月1回以上 (n=174)	65.5	49.4	46.6	4.0
週1回以上 (n=83)	73.5	47.0	37.3	3.6

(5) 公共施設の統合・廃止による利用しづらさについて

問：公共施設の見直しにより、利用している公共施設が統合や廃止によってなくなり、同じサービスを提供している施設が今までより遠くなるなど、利用しづらくなる場合もあると考えられます。あなたの意見に最も近いものを1つ選んでください。



【全体結果】

公共施設が統合や廃止による利用しづらさについて、「許容できる」(21.2%)が約2割、「ある程度許容できる」(68.4%)が約7割、合計した『許容できる』(89.6%)は、約9割となった。「許容できない」は7.5%となった。

【属性別結果】(次ページ図1-5参照)

① 年齢別

ほとんどの年代で、『許容できる』(「許容できる」と「ある程度許容できる」の合計)の割合は、概ね9割前後となっており、最も低い20代(83.9%)でも8割半ばとなっている。

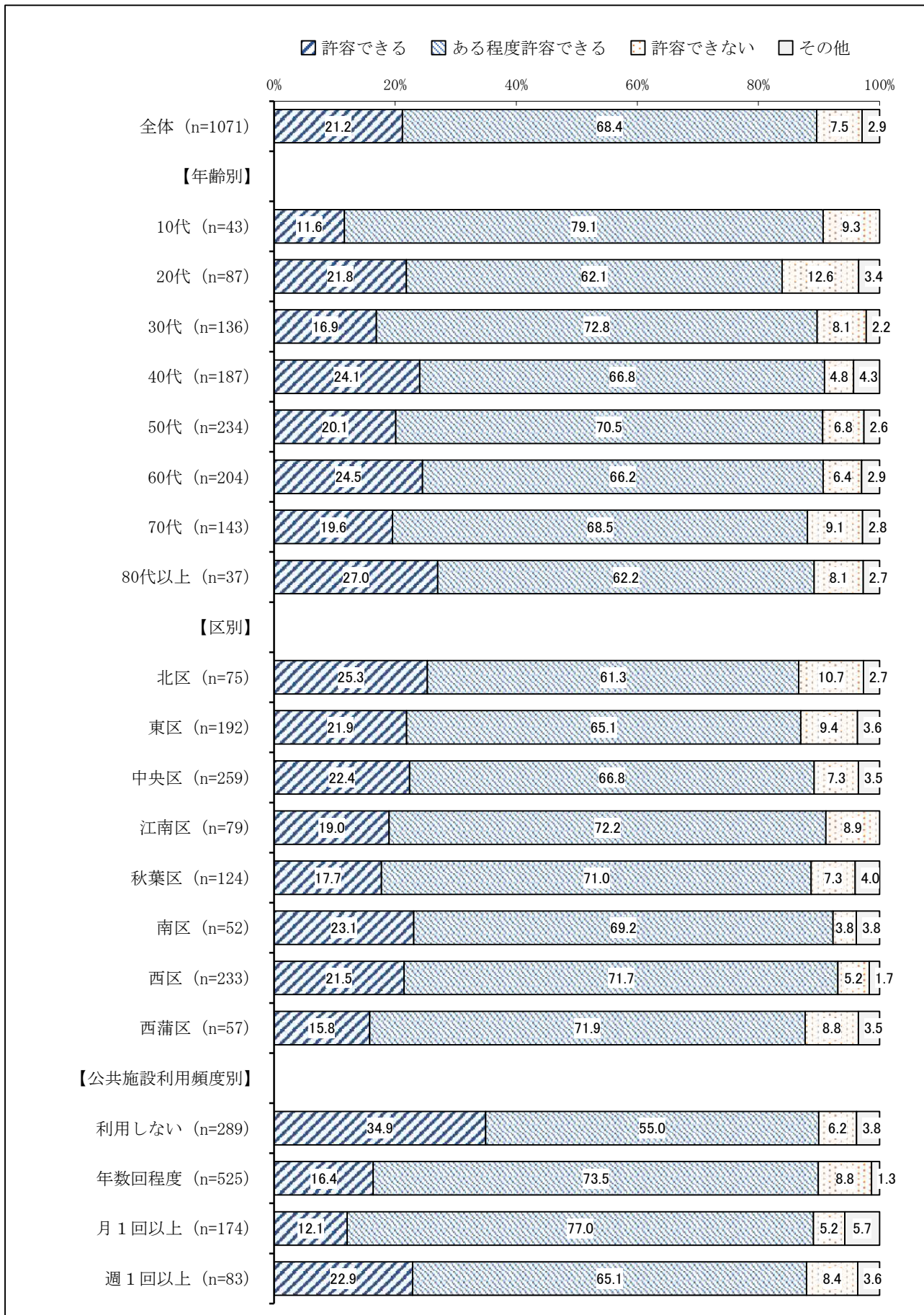
② 区別

すべての区で、『許容できる』の割合は、概ね9割前後となっている。

③ 公共施設利用頻度別

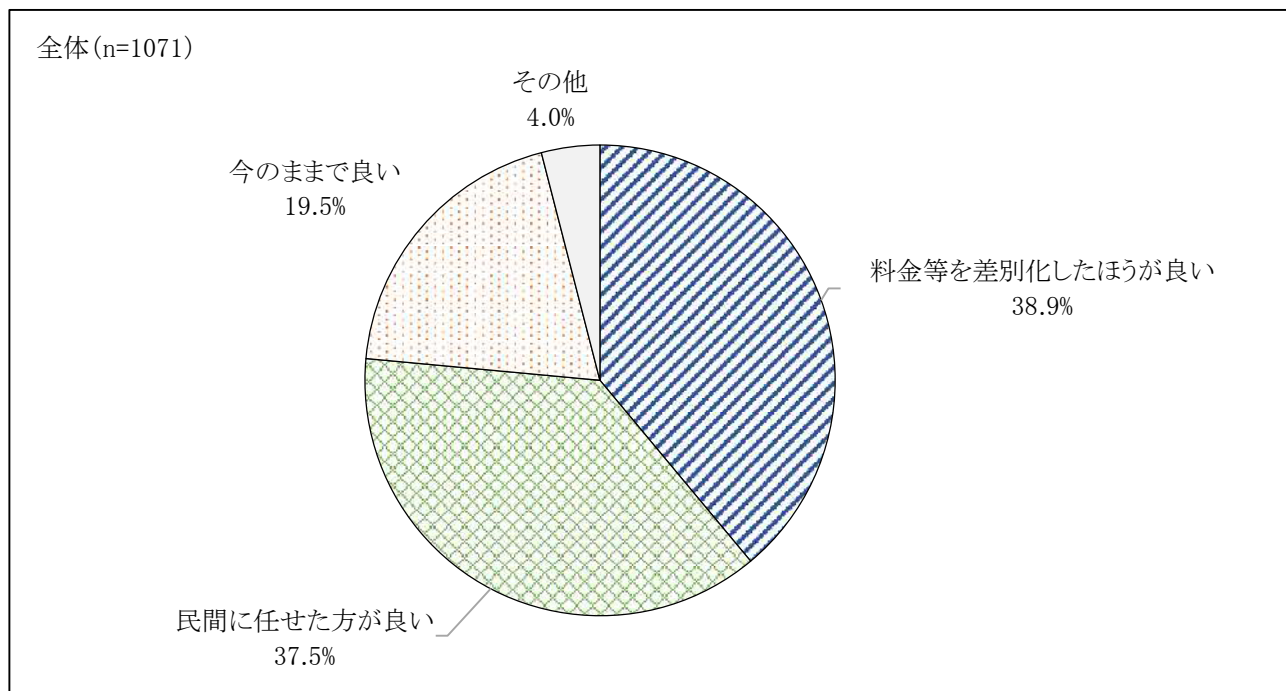
いずれの利用頻度でも、『許容できる』の割合は、概ね9割前後となっており、利用頻度による大きな差はみられない。

図 1-5 公共施設の統合・廃止による利用しづらさについて（年齢別/区別/公共施設利用頻度別）



(6) 民間施設と市営施設で類似するサービスの提供について

問：民間施設と市営施設で類似するサービスを公共施設が提供しているケースがあります。この状況について、あなたの意見に最も近いものを1つ選んでください。



【全体結果】

民間施設と市営施設で類似するサービスを提供していることについて、「料金等を差別化したほうが良い」(38.9%)と「民間に任せたほうが良い」(37.5%)が4割弱で割合が高い。「今のままで良い」(19.5%)は約2割となった。

【属性別結果】(次ページ図1-6参照)

① 年齢別

「民間に任せたほうが良い」の割合が最も高いのは80代以上(54.1%)で5割を超えている。最も低いのは10代(18.6%)で2割に満たず、年齢が高いほど割合が高くなる傾向がみられる。「今のままで良い」の割合が最も高いのは10代(46.5%)で、最も低いのは、80代以上(10.8%)。年齢が高いほど割合が低く傾向がみられる。

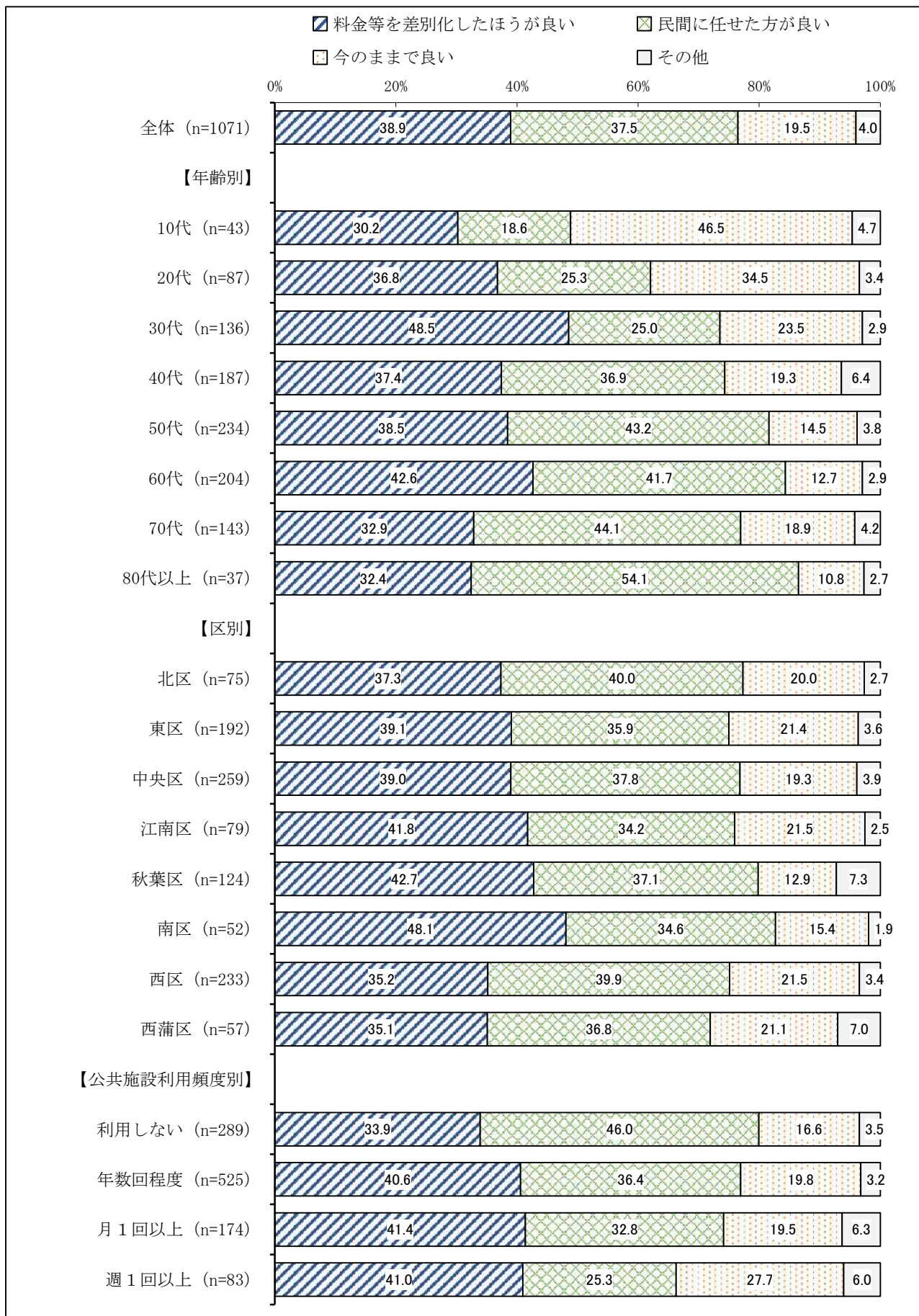
② 区別

「料金等を差別化したほうが良い」の割合は、南区(48.1%)で最も高く、西蒲区(35.1%)で最も低い。「民間に任せたほうが良い」の割合は、北区(40.0%)と西区(39.9%)で高く、江南区(34.2%)と南区(34.6%)で低い。「今のままで良い」の割合は、秋葉区(12.9%)で最も低い。

③ 公共施設利用頻度別

「民間に任せたほうが良い」の割合が最も高いのは、利用しない人(46.0%)で、最も低いのは、週1回以上利用する人(25.3%)。利用頻度が高いほど割合が低くなる傾向がみられる。「今のままで良い」の割合が最も高いのは週1回以上利用する人(27.7%)で、最も低いのは、利用しない人(16.6%)。利用頻度が高いほど割合が低く傾向がみられる。

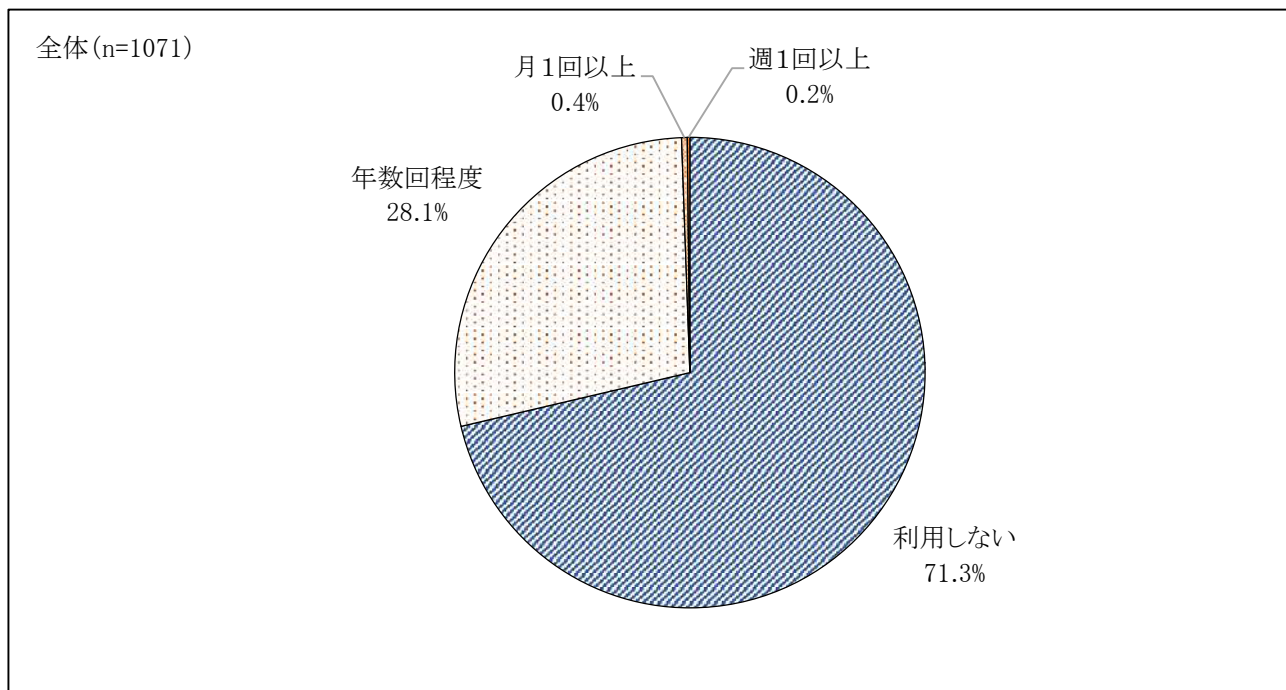
図 1-6 民間施設と市営施設で類似するサービスの提供について（年齢別/区別/公共施設利用頻度別）



2. 新潟テルサについて

(1) ホールの利用頻度

問：①あなたは、どのくらいの頻度で新潟テルサのホールを利用しますか？



【全体結果】

新潟テルサのホールの利用頻度は、「利用しない」(71.3%)の割合が7割強で最も高く、次いで「年数回程度」(28.1%)、「月に1回以上」(0.4%)、「週に1回以上」(0.2%)と続く。年数回程度以上使用する割合は28.7%、月1回以上利用する合計は、0.6%と1%に満たなかった。

【属性別結果】(次ページ図 2-1 参照)

① 年齢別

「利用しない」の割合は、20代と30代で低い。

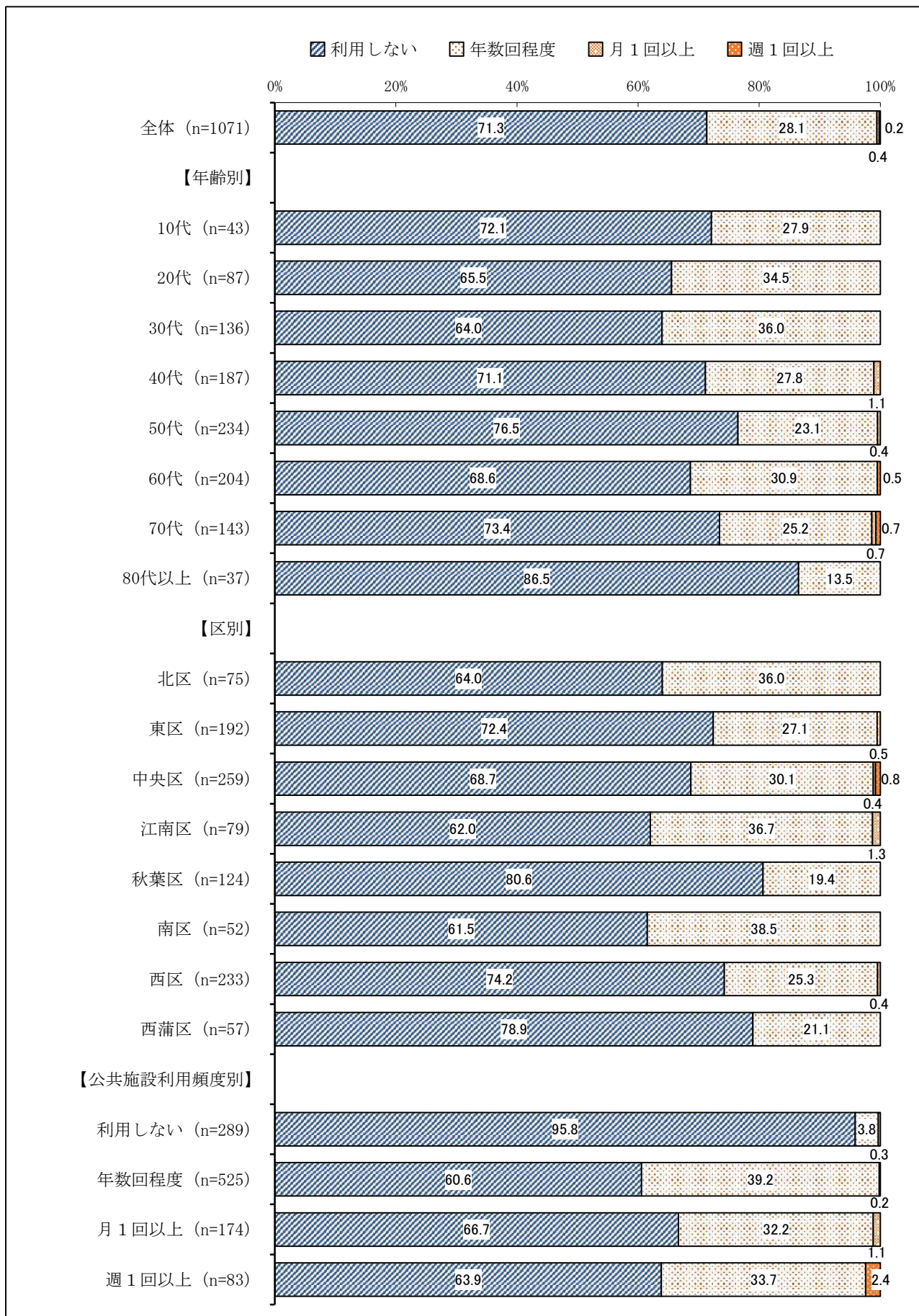
② 区別

「利用しない」の割合は、秋葉区(80.6%)と西蒲区(78.9%)で高く、南区(61.5%)と江南区(62.0%)で低い。

③ 公共施設利用頻度別

「利用しない」の割合は、公共施設を利用しない人で最も高く95.8%を占めた。公共施設を年に数回程度以上利用する人は、「利用しない」が6割台、「年数回程度」が3割台となっている。

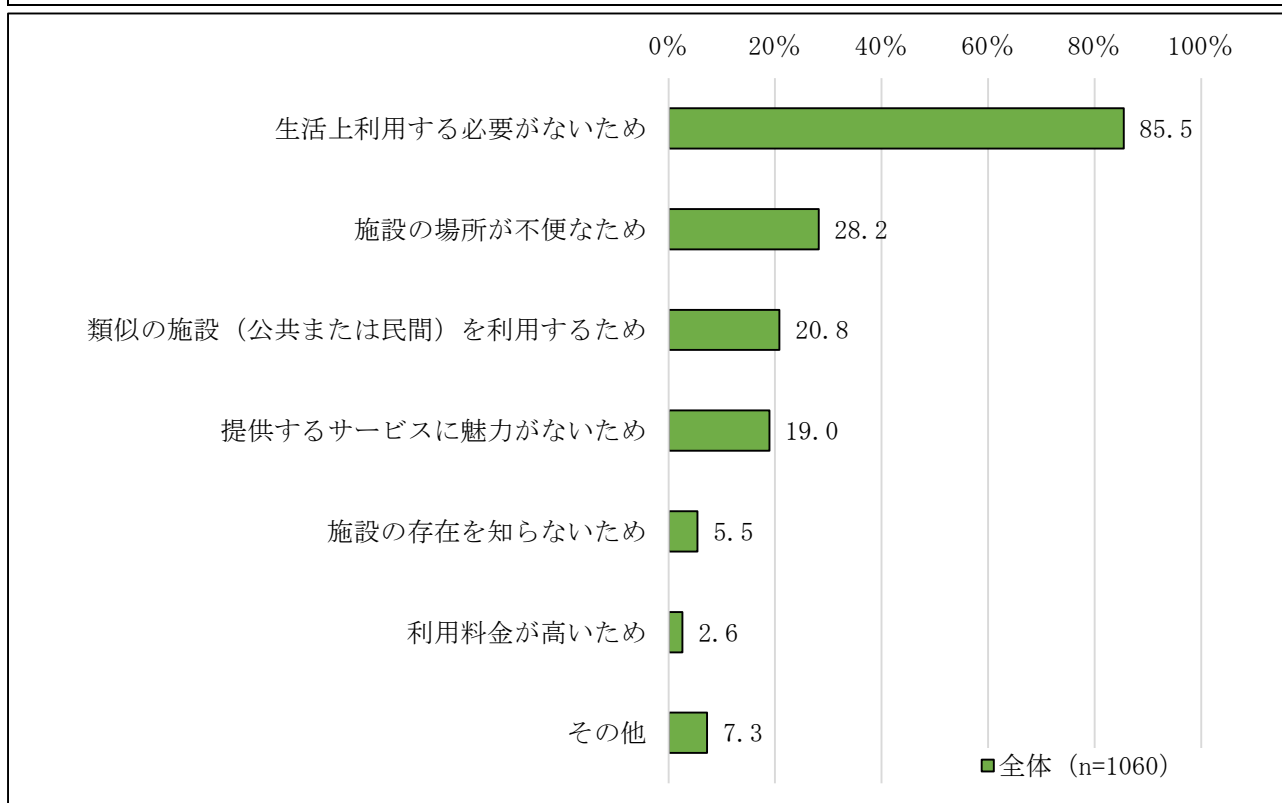
図 2-1 ホールの利用頻度（年齢別/区別/公共施設利用頻度別）



(2) ホールを利用しない理由

問：「利用しない」または「年数回程度」と回答した方

利用頻度が少ない理由を3つまで選んでください。



【全体結果】

新潟テルサのホールを利用しない理由は、「生活上利用する必要がないため」(85.5%)の割合が8割半ばで最も高い。次いで「施設の場所が不便なため」(28.2%)、「類似の施設（公共または民間）を利用するため」(20.8%)、「提供するサービスに魅力がないため」(19.0%)、「施設の存在を知らないため」(5.5%)、「利用料金が高いため」(2.6%)の順に続く。

【属性別結果】(次ページ図 2-2 参照)

① 年齢別

「生活上利用する必要がないため」の割合は20～60代で8割半ばと高い。70代、80代以上では、「施設の場所が不便なため」の割合が4割以上と他と比較して高い。

② 区別

「生活上利用する必要がないため」の割合は、秋葉区(89.5%)で最も高く、中央区(81.6%)で最も低い。「施設の場所が不便なため」の割合は、西蒲区(38.6%)で最も高く、江南区(11.7%)で最も低い。「類似の施設（公共または民間）を利用するため」の割合は、西区(24.8%)、中央区(22.7%)、西蒲区(21.1%)で高く、江南区(15.6%)で最も低い。「提供するサービスに魅力がないため」の割合は、中央区(23.9%)で最も高く、北区(10.7%)で最も低い。「施設の存在を知らないため」の割合は、西蒲区(10.5%)で最も高い。

③ 公共施設利用頻度別

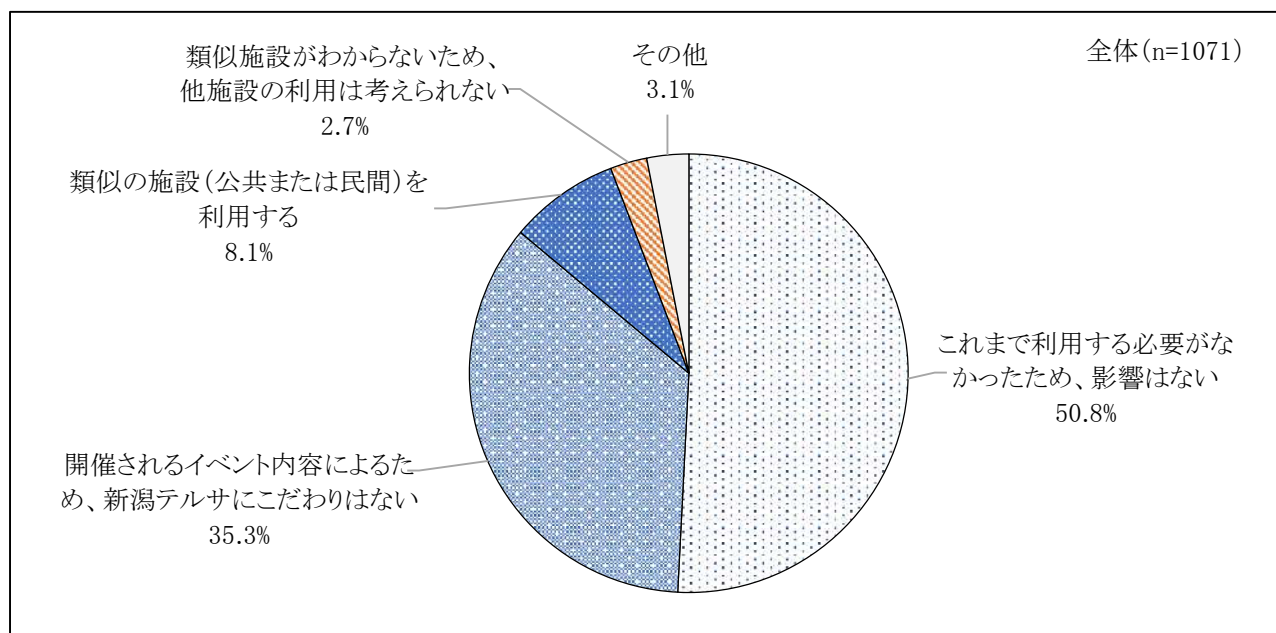
「生活上利用する必要がないため」の割合は、公共施設を利用しない人（91.6%）で最も高く、週1回以上利用する人（72.8%）で最も低い。「類似の施設（公共または民間）を利用するため」の割合は、公共施設を利用しない人（9.8%）では1割に満たないが、年数回程度以上利用する人では、2～3割台となり差がみられた。

図 2-2 ホールを利用しない理由（年齢別/区別/公共施設利用頻度別）

割合 (%)	生活上利用する必要がないため	施設の場所が不便なため	類似の施設（公共または民間）を利用するため	提供されるサービスに魅力がないため	施設の存在を知らないため	利用料金が高いため	その他
全体 (n=1060)	85.5	28.2	20.8	19.0	5.5	2.6	7.3
【年齢別】							
10代 (n=43)	81.4	23.3	14.0	14.0	4.7	4.7	2.3
20代 (n=87)	86.2	18.4	19.5	19.5	17.2	2.3	6.9
30代 (n=136)	86.0	22.1	10.3	18.4	4.4	0.7	11.0
40代 (n=185)	85.9	22.7	19.5	18.9	4.9	2.7	11.4
50代 (n=232)	88.4	23.3	20.3	19.8	5.6	1.3	6.0
60代 (n=203)	87.2	36.0	23.6	18.2	3.4	3.9	4.9
70代 (n=140)	80.0	41.4	33.6	19.3	2.9	4.3	5.7
80代以上 (n=34)	76.5	47.1	17.6	23.5	5.9	2.9	5.9
【区別】							
北区 (n=75)	84.0	32.0	17.3	10.7	2.7	2.7	9.3
東区 (n=190)	88.4	32.6	18.9	16.8	5.8	3.2	6.3
中央区 (n=255)	81.6	25.1	22.7	23.9	5.5	2.0	9.0
江南区 (n=77)	87.0	11.7	15.6	19.5	5.2	2.6	10.4
秋葉区 (n=124)	89.5	28.2	18.5	16.9	5.6	1.6	3.2
南区 (n=52)	84.6	26.9	19.2	17.3	1.9	1.9	11.5
西区 (n=230)	85.2	30.0	24.8	19.6	5.7	2.6	7.0
西蒲区 (n=57)	86.0	38.6	21.1	17.5	10.5	7.0	1.8
【公共施設利用頻度別】							
利用しない (n=287)	91.6	25.1	9.8	20.6	7.3	3.5	4.2
年数回程度 (n=520)	84.2	28.8	22.9	18.5	4.6	1.9	8.7
月1回以上 (n=172)	84.9	31.4	30.8	17.4	5.2	3.5	8.7
週1回以上 (n=81)	72.8	28.4	25.9	19.8	4.9	2.5	6.2

(3) ホールが廃止になった場合

問：新潟テルサのホールが廃止になったらどうしますか？



【全体結果】

新潟テルサのホールが廃止になった場合、「これまで利用する必要がなかったため、影響はない」（50.8%）の割合が最も高く約5割となった。次いで「開催されるイベント内容によるため、新潟テルサにこだわりはない」（35.3%）、「類似の施設（公共または民間）を利用する」（8.1%）の順に続く。「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」は2.7%となった。

【属性別結果】（次ページ図 2-3 参照）

① 年齢別

「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」の割合は10代（9.3%）で最も高い。20代では1.1%と低いが30～40代では4%前後とやや高い。50代で2.6%、60～70代で1%台、80代以上では0%となった。

② 区別

「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」の割合は南区（5.8%）と東区（4.7%）で高かった。南区では「類似の施設（公共または民間）を利用する」は1.9%と、他と比較して低く差がみられた。

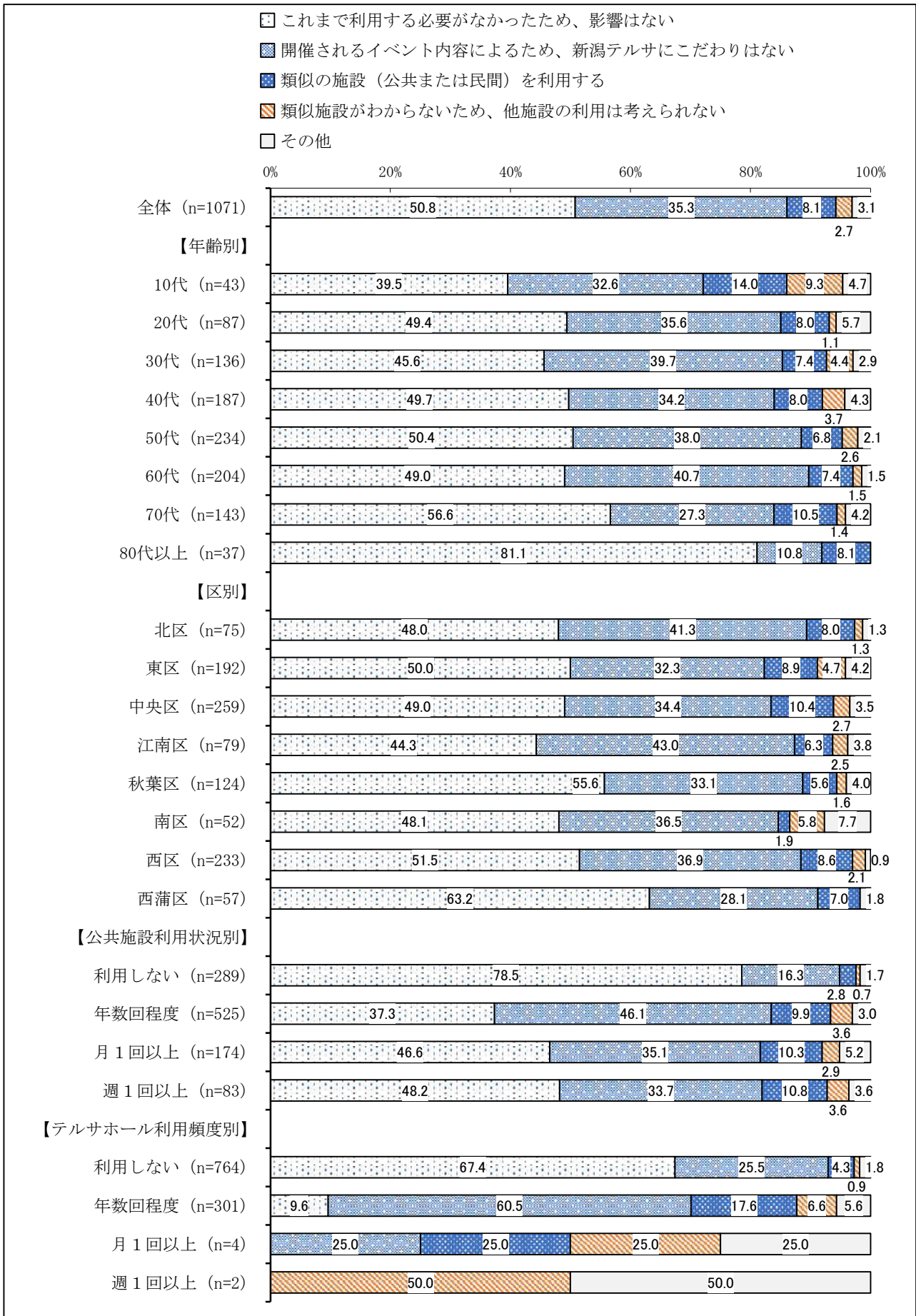
③ 公共施設利用頻度別

「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」の割合は、公共施設を利用しない人（0.7%）と比較して、年数回程度以上の人で2～3%とやや高いが、差は小さい。

④ テルサホールの利用頻度別

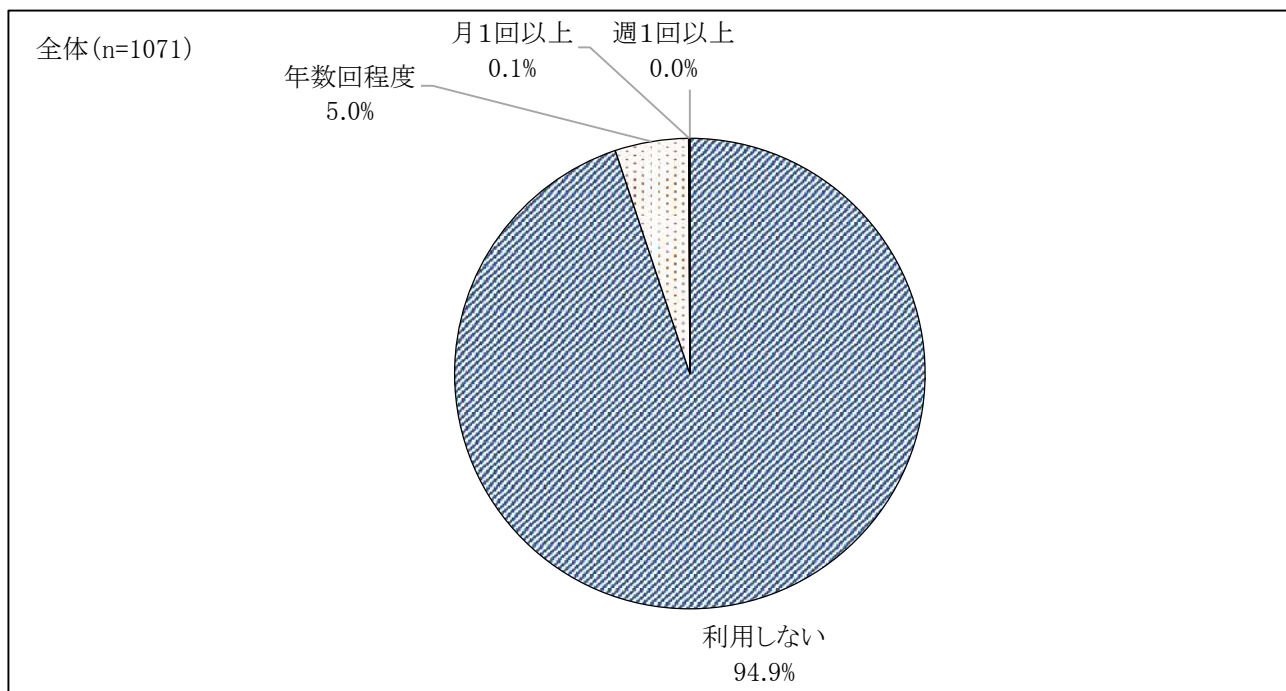
利用者の数が少ないため、あくまで参考であるが、「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」の割合は、新潟テルサのホールを利用しない人（0.9%）と比較して、年数回程度の人で6.6%、月1回以上で25.0%、週1回以上で50.0%となった。

図 2-3 ホールが廃止になった場合（年齢別/区別/公共施設利用頻度別/テルサホール利用頻度別）



(4) 貸室の利用頻度

問：②あなたは、どのくらいの頻度で新潟テルサの貸室を利用しますか？



【全体結果】

新潟テルサの貸室の利用頻度は、「利用しない」(94.9%)の割合が9割半ば最も高く、「年数回程度」は5.0%、「月に1回以上」はわずかに0.1%、「週に1回以上」は1人もいなかった。

【属性別結果】(次ページ図 2-4 参照)

① 年齢別

「利用しない」の割合は、70代(92.3%)で最も低いですが、それでも9割を超えている。

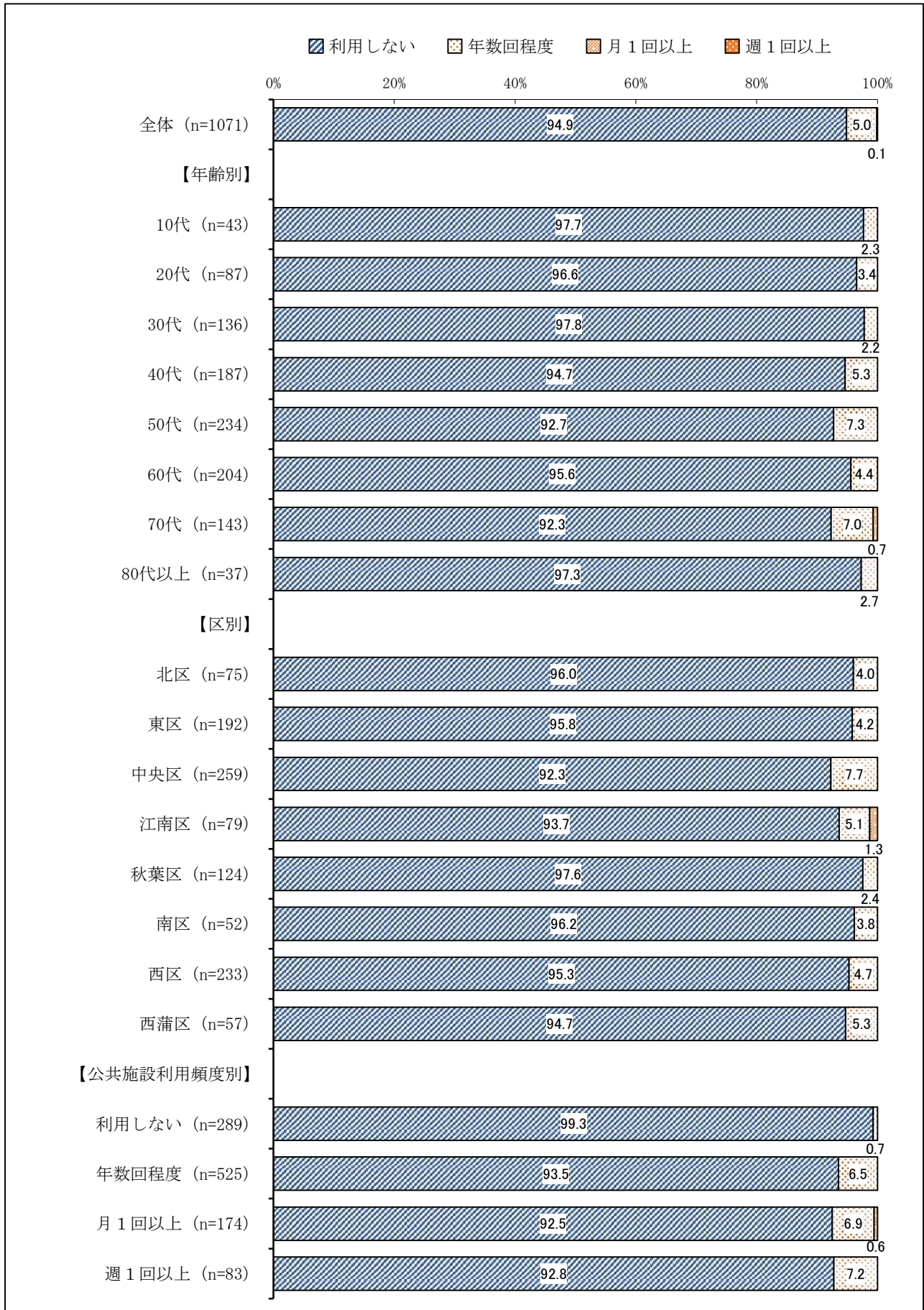
② 区別

「利用しない」の割合は、中央区(92.3%)で最も低いですが、それでも9割を超えている。

③ 公共施設利用頻度別

「利用しない」の割合は、公共施設を利用しない人で最も高く99.3%を占めた。月1回以上の人で最も低いですが、それでも9割を超えている。

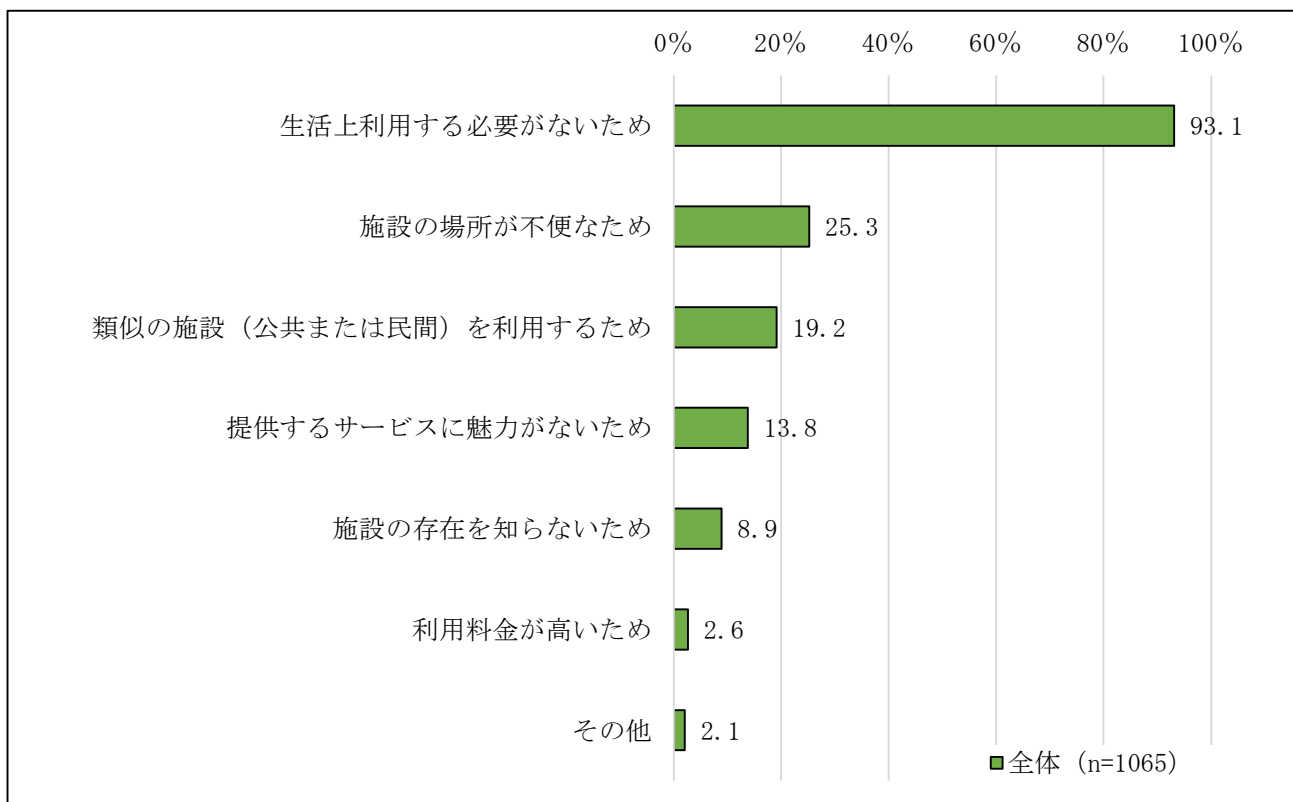
図 2-4 貸室の利用頻度（年齢別/区別/公共施設利用頻度別）



(5) 貸室を利用しない理由

問：「利用しない」または「年数回程度」と回答した方

利用頻度が少ない理由を3つまで選んでください。



【全体結果】

新潟テルサの貸室を利用しない理由は、「生活上利用する必要がないため」(93.1%)の割合が9割強で最も高い。次いで「施設の場所が不便なため」(25.3%)、「類似の施設(公共または民間)を利用するため」(19.2%)、「提供するサービスに魅力がないため」(13.8%)、「施設の存在を知らないため」(8.9%)、「利用料金が高いため」(2.6%)の順に続く。

【属性別結果】(次ページ図2-5参照)

① 年齢別

「生活上利用する必要がないため」の割合は、他と比べて20代と70代でやや低いが、それでも9割近くとなっている。70代では、「施設の場所が不便なため」の割合が4割以上と他と比較して高い。

② 区別

「生活上利用する必要がないため」の割合は、中央区と西蒲区(いずれも89.5%)で最も低いが、それでも約9割となっている。「施設の場所が不便なため」の割合は、西蒲区(38.6%)で最も高く、江南区(13.0%)で最も低い。「類似の施設(公共または民間)を利用するため」の割合は、西区(22.1%)、東区(22.0%)、中央区(20.2%)で高く、江南区(9.1%)で最も低い。「提供するサービスに魅力がないため」の割合は、中央区(16.3%)で最も高く、南区(3.8%)で最も低い。「施設の存在を知らないため」の割合は、西蒲区(12.3%)で最も高い。

③ 公共施設利用頻度別

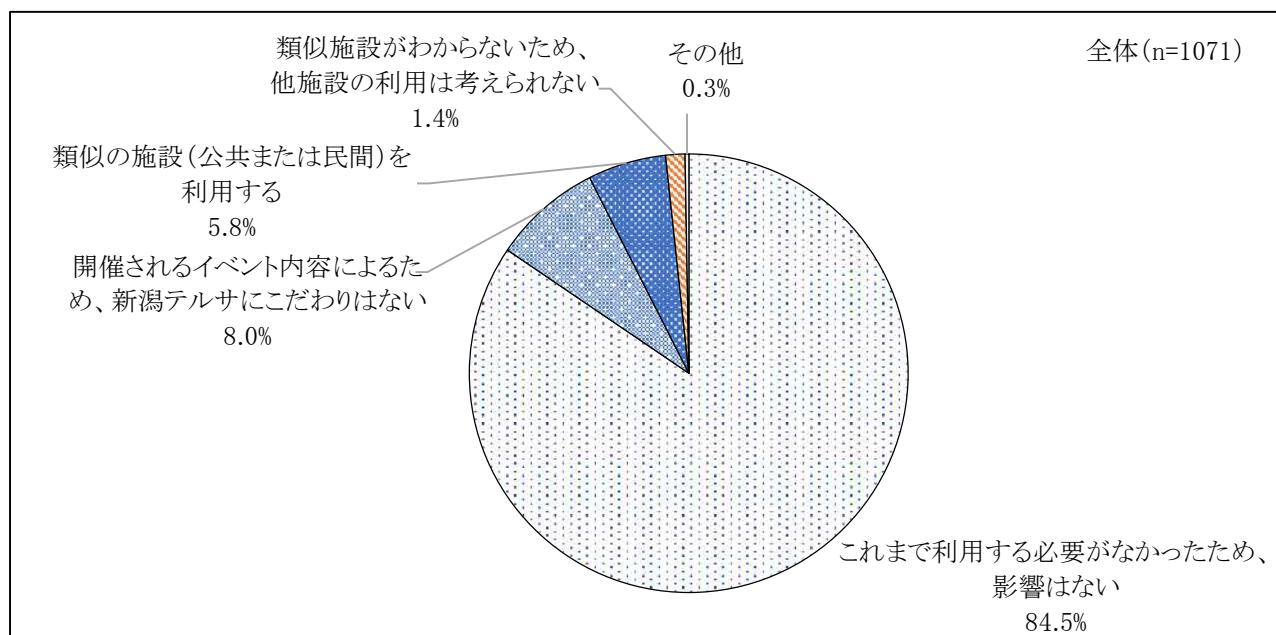
「生活上利用する必要がないため」の割合は、週1回以上利用する人（88.0%）で最も低い、それでも約9割となっている。「類似の施設（公共または民間）を利用するため」の割合は、公共施設を利用しない人（11.8%）では約1割となっているが、年数回程度以上利用する人では、2割台となっている。

図2-5 貸室を利用しない理由（年齢別/区別/公共施設利用頻度別）

割合 (%)	生活上利用する必要がないため	施設の場所が不便なため	類似の施設（公共または民間）を利用するため	提供するサービスに魅力がないため	施設の存在を知らないため	利用料金が高いため	その他
全体 (n=1065)	93.1	25.3	19.2	13.8	8.9	2.6	2.1
【年齢別】							
10代 (n=43)	95.3	16.3	7.0	7.0	11.6	4.7	2.3
20代 (n=87)	89.7	13.8	8.0	12.6	21.8	1.1	2.3
30代 (n=136)	94.1	18.4	9.6	8.1	10.3	1.5	0.7
40代 (n=187)	94.1	19.3	16.0	11.8	9.1	2.7	3.2
50代 (n=233)	94.4	21.9	20.6	15.5	8.6	3.0	2.1
60代 (n=204)	95.1	32.4	23.0	14.7	5.9	3.4	1.0
70代 (n=141)	87.9	44.0	34.0	20.6	3.5	2.1	3.5
80代以上 (n=34)	91.2	29.4	23.5	14.7	8.8	2.9	0.0
【区別】							
北区 (n=75)	96.0	32.0	18.7	8.0	6.7	5.3	2.7
東区 (n=191)	93.7	25.7	22.0	15.2	10.5	3.7	1.6
中央区 (n=258)	89.5	21.3	20.2	16.3	9.3	0.8	2.7
江南区 (n=77)	97.4	13.0	9.1	14.3	10.4	5.2	1.3
秋葉区 (n=124)	96.8	25.0	17.7	12.1	6.5	1.6	2.4
南区 (n=52)	92.3	26.9	13.5	3.8	9.6	1.9	1.9
西区 (n=231)	93.5	27.7	22.1	14.7	7.8	2.2	2.2
西蒲区 (n=57)	89.5	38.6	15.8	14.0	12.3	5.3	0.0
【公共施設利用頻度別】							
利用しない (n=288)	94.1	26.4	11.8	18.8	8.3	2.4	1.7
年数回程度 (n=521)	93.7	22.6	20.5	12.9	9.0	2.7	2.3
月1回以上 (n=173)	92.5	27.2	23.7	9.8	11.0	2.3	2.3
週1回以上 (n=83)	88.0	33.7	26.5	10.8	6.0	3.6	1.2

(6) 貸室が廃止になった場合

問：新潟テルサの貸室が廃止になったらどうしますか？



【全体結果】

新潟テルサの貸室が廃止になった場合、「これまで利用する必要がなかったため、影響はない」(84.5%)の割合が最も高く8割半ばとなった。次いで「開催されるイベント内容によるため、新潟テルサにこだわりはない」(8.0%)、「類似の施設（公共または民間）を利用する」(5.8%)の順に続く。「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」は1.4%となった。

【属性別結果】（次ページ図 2-6 参照）

① 年齢別

「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」の割合は、すべての年代で5.0%未満で低い。

② 区別

「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」の割合は南区(7.7%)でやや高いが、他の区はすべて2.0%未満と低い。

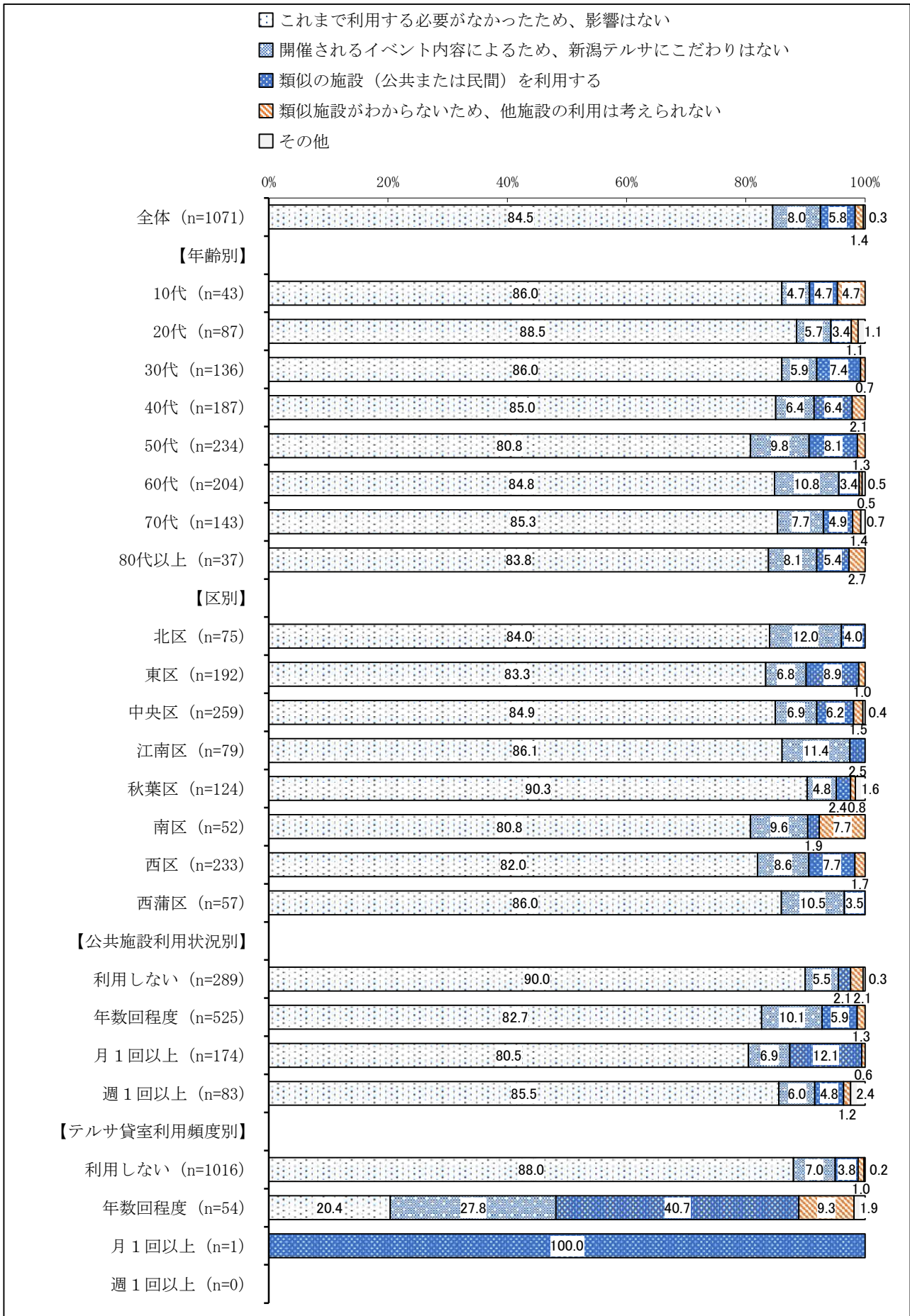
③ 公共施設利用頻度別

「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」の割合は、公共施設を利用しない人で最も高く2.1%となっている。年数回程度以上の人では2.0%未満となっている。

④ テルサの貸室利用頻度別

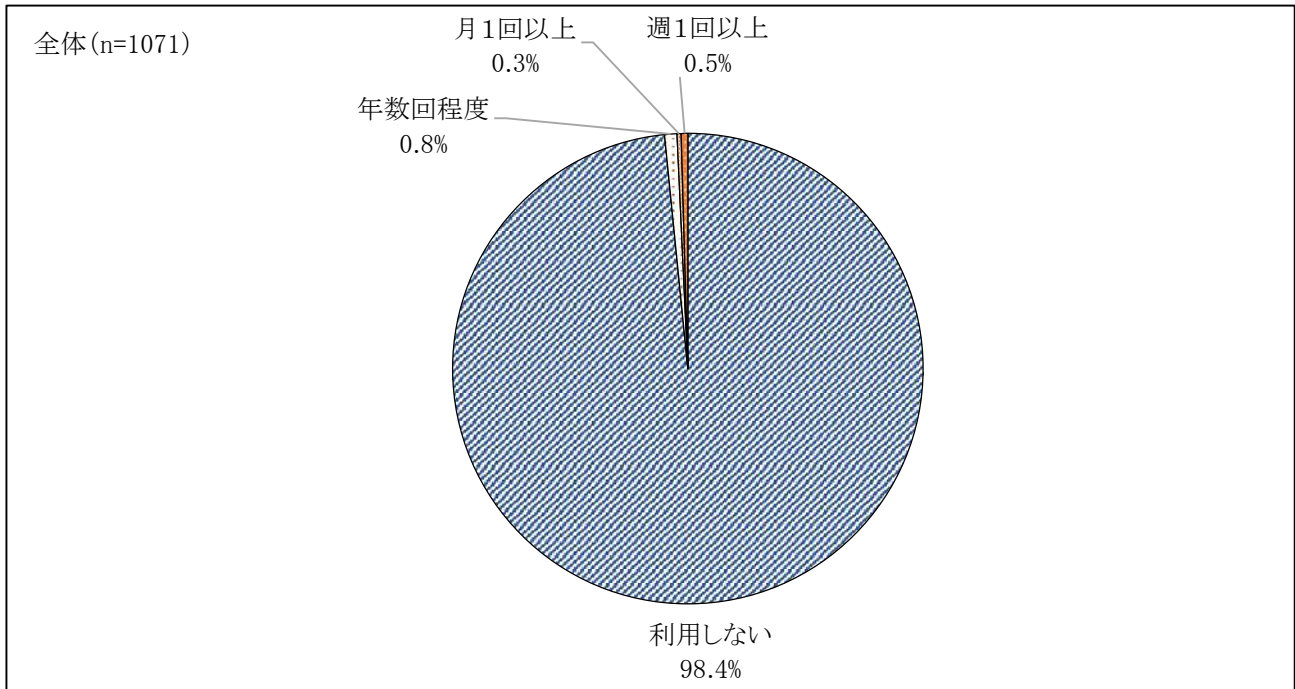
利用者の数が少ないため、あくまで参考であるが、「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」の割合は、新潟テルサの貸室を利用しない人(1.0%)と比較して、年数回程度の人(9.3%)で高くなっている。

図 2-6 貸室が廃止になった場合（年齢別/区別/公共施設利用頻度別/テルサ貸室利用頻度別）



(7) フィットネスセンターの利用頻度

問：③あなたは、どのくらいの頻度で新潟テルサのフィットネスセンターを利用しますか？



新潟テルサのフィットネスセンターの利用頻度は、「利用しない」(98.4%)の割合が高くほとんどを占める。「年数回程度」は0.8%、「月に1回以上」はわずかに0.3%、「週に1回以上」は0.5%となり、年数回程度以上利用する人の合計はわずか1.6%となった。

【属性別結果】(次ページ図 2-7 参照)

① 年齢別

すべての年齢で「利用しない」の割合が9割半ばを超えている。

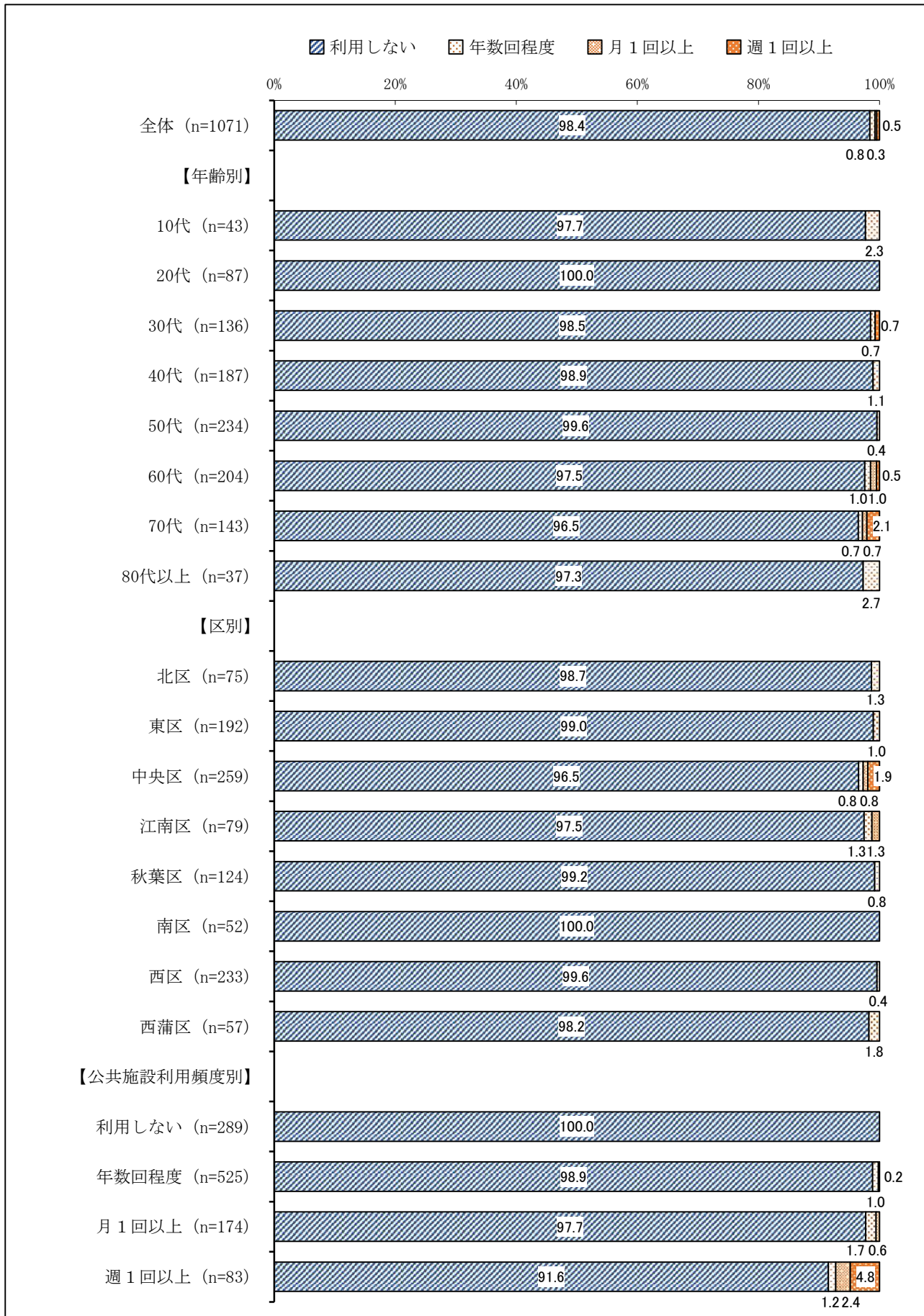
② 区別

すべての区で「利用しない」の割合が9割半ばを超えている。

③ 公共施設利用頻度別

「利用しない」の割合は、公共施設を利用しない人で最も高く100.0%となった。週1回以上の人(91.6%)で最も低い、それでも9割を超えている。

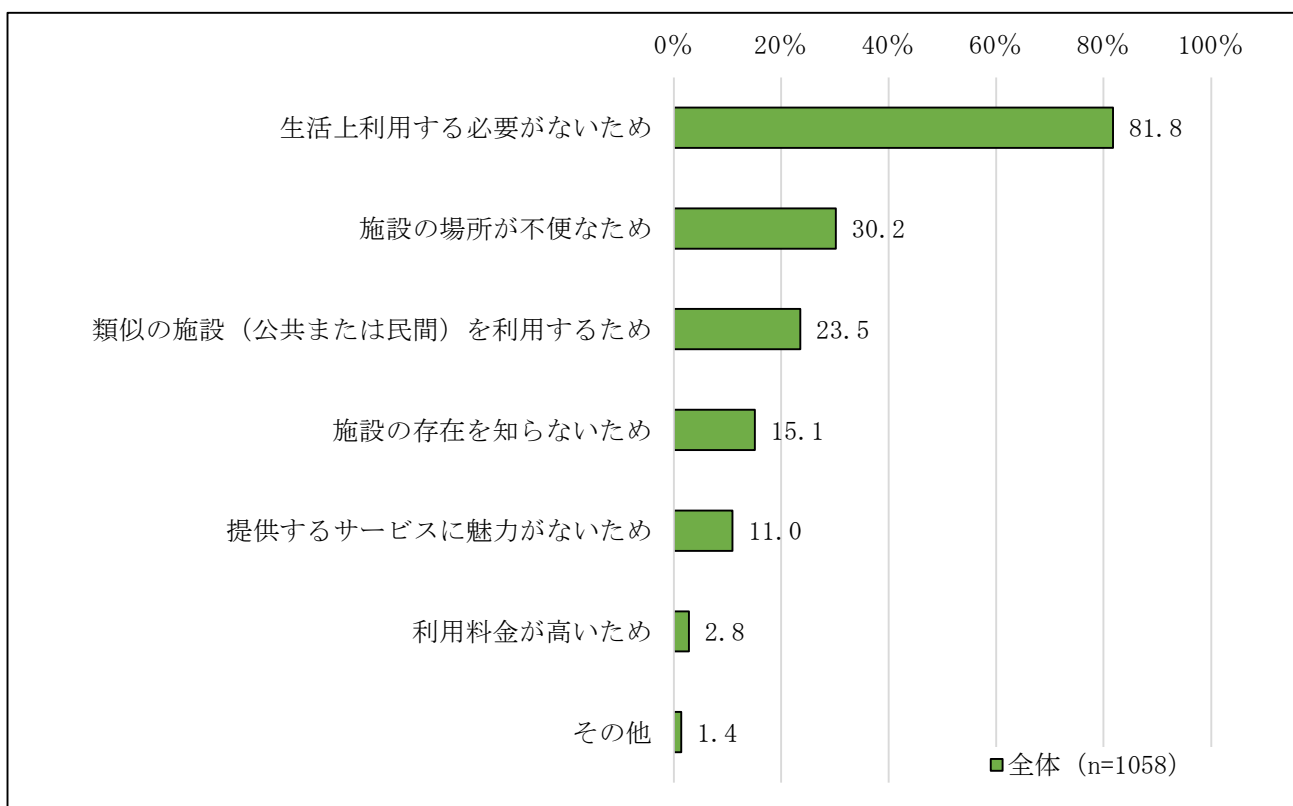
図 2-7 フィットネスセンターの利用頻度（年齢別/区別/公共施設利用頻度別）



(8) フィットネスセンターを利用しない理由

問：「利用しない」または「年数回程度」と回答した方

利用頻度が少ない理由を3つまで選んでください。(複数回答可)



【全体結果】

新潟テルサのフィットネスセンターを利用しない理由は、「生活上利用する必要がないため」(81.8%)の割合が約8割で最も高い。次いで「施設の場所が不便なため」(30.2%)、「類似の施設（公共または民間）を利用するため」(23.5%)、「施設の存在を知らないため」(15.1%)、「提供するサービスに魅力がないため」(11.0%)、「利用料金が高いため」(2.8%)の順に続く。

【属性別結果】(次ページ図 2-8 参照)

① 年齢別

「生活上利用する必要がないため」の割合は、他と比べて10代と20代でやや低いが、それでも7割半ばとなっている。70代では、「施設の場所が不便なため」の割合が4割以上と他と比較して高い。

② 区別

「施設の場所が不便なため」の割合は、北区(40.0%)で最も高く、江南区(11.7%)で最も低い。「類似の施設（公共または民間）を利用するため」の割合は、西区(26.8%)、中央区(25.5%)で高く、南区(15.4%)で最も低い。「提供するサービスに魅力がないため」の割合は、中央区(12.7%)で最も高く、南区(5.8%)で最も低い。「施設の存在を知らないため」の割合は、中央区(18.3%)で最も高い。

③ 公共施設利用頻度別

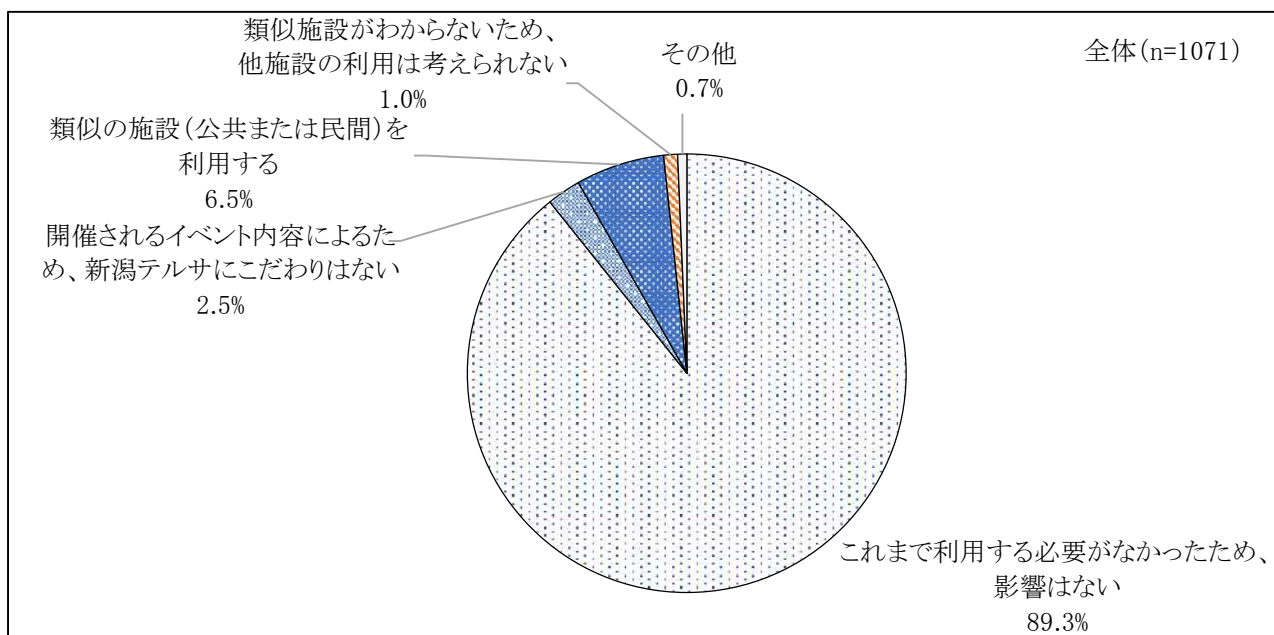
「生活上利用する必要がないため」の割合は、利用しない人（88.9%）で最も高く、週1回以上利用する人（72.7%）で最も低い。「類似の施設（公共または民間）を利用するため」の割合は、公共施設を週1回以上利用する人（33.8%）で最も高く、利用しない人（17.0%）で最も低い。また、利用頻度が高いほど「類似の施設（公共または民間）を利用するため」の割合が高くなっている。

図 2-8 フィットネスセンターを利用しない理由（年齢別/区別/公共施設利用頻度別）

割合 (%)	生活上利用する必要がないため	施設の場所が不便なため	類似の施設（公共または民間）を利用するため	施設の存在を知らないため	提供するサービスに魅力がないため	利用料金が高いため	その他
全体 (n=1058)	81.8	30.2	23.5	15.1	11.0	2.8	1.4
【年齢別】							
10代 (n=43)	74.4	18.6	11.6	20.9	4.7	4.7	0.0
20代 (n=87)	75.9	18.4	19.5	27.6	11.5	1.1	1.1
30代 (n=135)	78.5	28.1	17.0	16.3	7.4	0.7	2.2
40代 (n=187)	84.0	27.8	17.6	15.5	9.1	3.2	2.1
50代 (n=233)	83.7	28.3	23.2	12.9	11.2	2.6	0.9
60代 (n=201)	81.1	33.8	29.9	12.9	12.4	3.5	1.5
70代 (n=138)	83.3	44.2	36.2	13.0	13.0	3.6	1.4
80代以上 (n=34)	91.2	29.4	20.6	5.9	23.5	5.9	0.0
【区別】							
北区 (n=75)	86.7	40.0	22.7	8.0	8.0	4.0	2.7
東区 (n=191)	79.1	34.0	22.0	16.8	11.5	4.2	2.1
中央区 (n=251)	77.3	28.3	25.5	18.3	12.7	3.6	1.6
江南区 (n=77)	89.6	11.7	23.4	14.3	10.4	1.3	1.3
秋葉区 (n=124)	86.3	25.0	22.6	9.7	10.5	0.0	1.6
南区 (n=52)	84.6	28.8	15.4	15.4	5.8	3.8	0.0
西区 (n=231)	81.0	33.3	26.8	16.5	10.4	0.9	0.9
西蒲区 (n=57)	84.2	36.8	17.5	12.3	14.0	8.8	0.0
【公共施設利用頻度別】							
利用しない (n=288)	88.9	27.8	17.0	13.2	14.9	2.1	1.4
年数回程度 (n=520)	79.8	29.8	22.7	15.4	11.3	1.7	1.3
月1回以上 (n=173)	79.8	33.5	32.4	16.8	6.9	6.9	2.3
週1回以上 (n=77)	72.7	33.8	33.8	16.9	2.6	3.9	0.0

(9) フィットネスセンターが廃止になった場合

問：新潟テルサのフィットネスセンターが廃止になったらどうしますか？



新潟テルサのフィットネスセンターが廃止になった場合、「これまで利用する必要がなかったため、影響はない」(89.3%)の割合が最も高く約9割となった。次いで「類似の施設(公共または民間)を利用する」(6.5%)、「開催されるイベント内容によるため、新潟テルサにこだわりはない」(2.5%)の順に続く。「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」は1.0%となった。

【属性別結果】(次ページ図 2-9 参照)

① 年齢別

「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」の割合は、すべての年齢で3.0%未満と低い。

② 区別

「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」の割合は、すべての区で3.0%未満と低い。

③ 公共施設利用頻度別

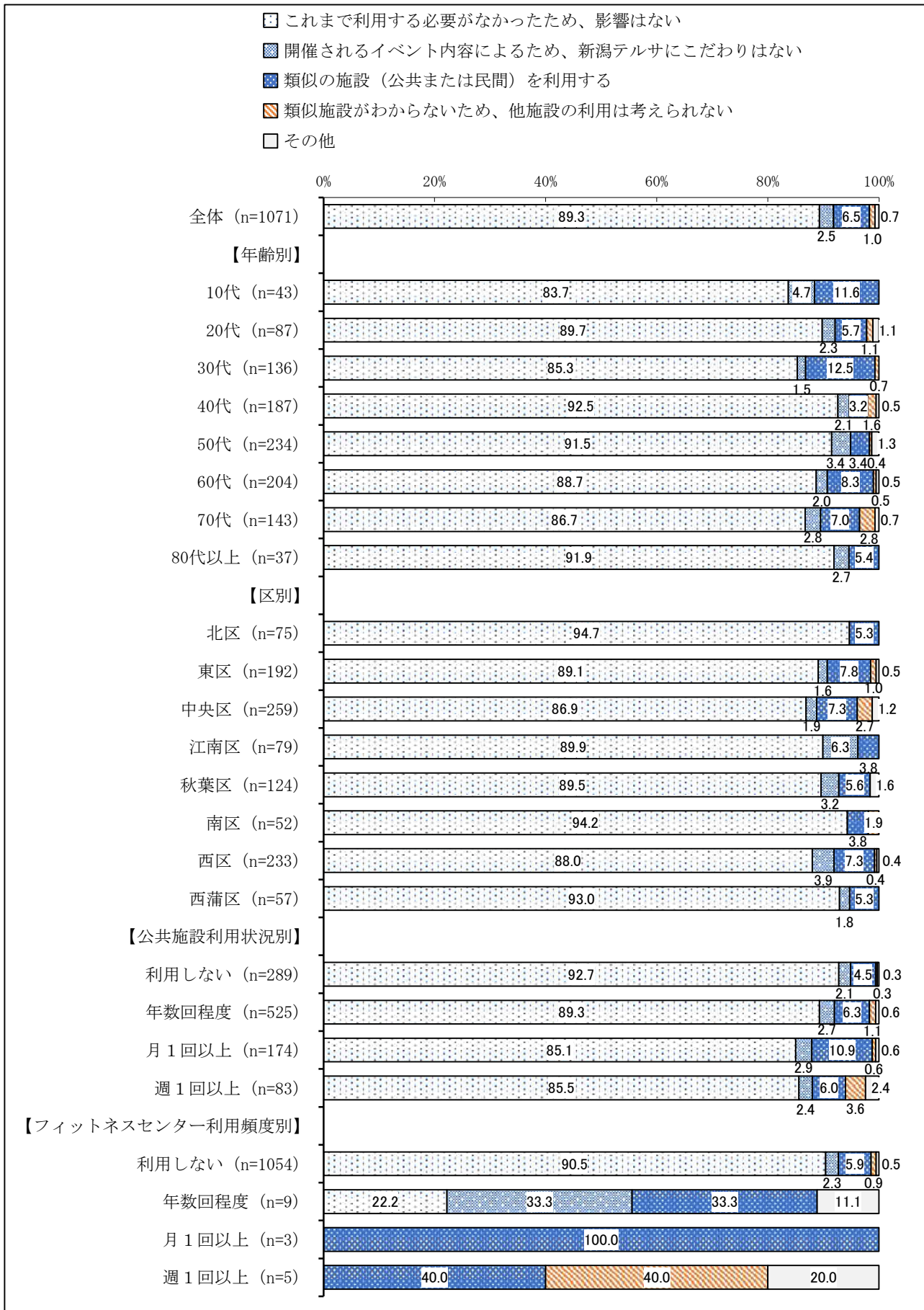
「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」の割合は、公共施設を週1回以上利用する人で最も高いが3.6%に留まっている。

④ テルサのフィットネスセンターの利用頻度別

利用者の数が少ないため、あくまで参考であるが、「類似施設がわからないため、他施設の利用は考えられない」の割合は、週1回以上利用する人(40.0%)で高くなっている。

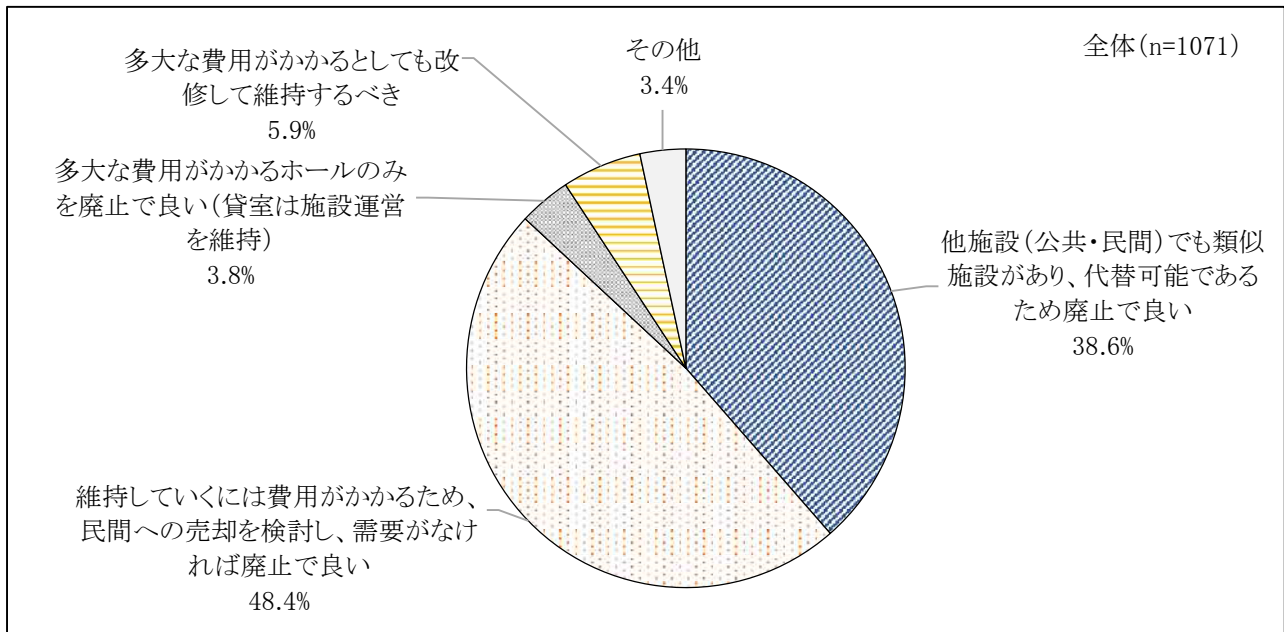
図 2-9 フィットネスセンターが廃止になった場合

(年齢別/区別/公共施設利用頻度別/フィットネスセンター利用頻度別)



(10) 市の方針（令和3年度から10年以内に廃止）について

問：市の方針（令和3年度から10年以内に廃止）について（フィットネスセンターは除く）、あなたの意見に近いものはどれですか？



【全体結果】

市の方針（令和3年度から10年以内に廃止）についての考えは、「維持していくには費用がかかるため、民間への売却を検討し、需要がなければ廃止で良い」（48.4%）の割合が最も高く約5割となった。次に「他施設（公共・民間）でも類似施設があり、代替可能であるため廃止で良い」（38.6%）が続き、この2つを合わせた『廃止で良い』は、86.9%となった。「多大な費用がかかるホールのみを廃止で良い（貸室は施設運営を維持）」（3.8%）を合わせた『ホールは廃止で良い』（90.8%）は約9割となった。「多大な費用がかかるとしても改修して維持すべき」は5.9%となった。

【属性別結果】（次ページ図2-10参照）

① 年齢別

すべての年齢で、「維持していくには費用がかかるため、民間への売却を検討し、需要がなければ廃止で良い」と「他施設（公共・民間）でも類似施設があり、代替可能であるため廃止で良い」が高い。「多大な費用がかかるホールのみを廃止で良い（貸室は施設運営を維持）」は、10代（18.6%）、20代（11.5%）で高く1割以上となった。

② 区別

すべての区で、「維持していくには費用がかかるため、民間への売却を検討し、需要がなければ廃止で良い」と「他施設（公共・民間）でも類似施設があり、代替可能であるため廃止で良い」が高い。

③ 公共施設利用頻度別

「多大な費用がかかるホールのみを廃止で良い（貸室は施設運営を維持）」は、公共施設を利用しない人（2.8%）と比較して、年数回程度以上の人で5～7%台とやや高いが、1割に満たない。

図 2-10 市の方針（令和3年度から10年以内に廃止）について（年齢別/区別/公共施設利用頻度別）

